

第 1 3 回 白井市住民意識調査

【報告書】(案)

平成 2 6 年度

白 井 市

- 目 次 -

アンケート調査の実施概要	1
1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査設計と回収状況	1
4 調査結果の要約	2
アンケート調査結果	6
1 回答者属性	6
2 白井市で暮らすことについて	12
3 市政について	17
4 市の取り組みについて	20
5 子育て支援について	49
6 高齢期の生活について	50
7 防災について	55
8 市民参加・協働によるまちづくりについて	57
9 市の土地利用について	60
10 市のまちづくりや地区のまちづくりについて	62
11 自治会の加入について	69
12 市の職員や行財政改革について	71
13 自由意見	73
資料編	81
アンケート調査票	156

アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

第5次総合計画の策定にあたり、まちづくりに対する市民の意向などを把握し、計画づくりに反映させることを目的として住民意識調査を実施した。

2 調査項目

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 回答者属性 | (7) 防災について |
| (2) 白井市で暮らすことについて | (8) 市民参加・市民協働について |
| (3) 市政について | (9) 市の土地利用について |
| (4) 市の取り組みについて | (10) 市のまちづくりや地区のまちづくりについて |
| (5) 子育て支援について | (11) 自治会の加入について |
| (6) 高齢期の生活について | (12) 市の職員や行財政改革について |

3 調査設計と回収状況

- (1) 調査地域：白井市全域
- (2) 調査対象：白井市在住の18歳以上の男女2,500人
- (3) 抽出方法：平成26年4月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査時期：平成26年5月16日(金)～5月30日(金)
- (5) 実施主体：白井市
- (6) 回収状況：有効回収数(回収率) 1,113件(44.5%)

<調査結果の見方>

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

4 調査結果の要約

白井市で暮らすことについて

(1) 白井市について

白井市に好感を持っている人は約7割。5年間で5.5ポイント増加

「好き」(25.4%)と「どちらかという好き」(45.5%)を合わせた市に好感を持っている人は70.9%と、前回調査に比べ5.5ポイント増加している。

(2) 住みやすさについて

住みやすいと感じている人は全体の2/3。5年間で8.4ポイント増加

「住みやすい」(18.1%)と「どちらかという住みやすい」(48.6%)を合わせた住みやすさを感じている人は66.7%と、前回調査に比べ8.4ポイント増加している。

(3) 定住意向

永住希望者は約1/4で、5年間で0.8ポイント減少。交通費や交通の便の悪さがネック

「永住したい」(25.5%)は前回調査に比べ0.8ポイント減少。「永住したい」(25.5%)と「当分住み続けたい」(40.9%)を合わせた定住希望者は66.4%と、前回調査に比べ3.2ポイント増加している。

地区別にみると、白井第一、白井第二地区で「永住したい」が40%前後と多い一方、南山、桜台などでは10%台と少ない。

住み続けたい理由については、「持ち家があるから」(65.1%)、「自然環境が良いから」(58.2%)が多い。特に「持ち家があるから」は前回調査より5.7ポイント増加している。

一方、移住したい理由は、「交通費が割高だから」(68.1%)、「通勤・通学に不便だから」(35.5%)が多いが、「交通費が割高だから」は前回調査に比べ8.6ポイント減少している。

市政について

(1) 市政情報の入手方法

「広報しろい」が約8割で、高年齢層を中心に紙媒体での入手が多い

「広報しろい」(80.3%)が約8割、「地域の新聞やミニコミ誌」が約3割と紙媒体での情報入手が多い。年齢別にみると、紙媒体での情報入手は高年齢層で多い。「市のホームページ」は30~40歳代などで多い。

(2) 市政への関心

市政に関心があるのは約4割。男性、高年齢層で関心が高い

市政に関心を持っている回答者(「大いに関心がある」(4.9%)と「関心がある」(39.8%)の合計)は4割強で、性別では男性、年齢別では高年齢層ほど関心が高い傾向が見られる。関心がない理由としては、「市政に期待していないから」(39.1%)と「市政のことはわからないから」(37.8%)が4割弱と多い。

市の取り組みについて

(1) 施策の満足度

健康・保健・医療分野の満足度が高い。5年前に比べ子育てやバリアフリー環境で満足度が上昇

母子保健や疾病予防、健康づくりなど、健康・保健・医療分野の施策で満足度が高いものが多い。この5年間では、保育園などの子育て環境やバリアフリー環境、健全な行財政運営などで満足度が上昇している。

(2) 施策の重要度

鉄道運賃や防災・防犯分野の重要度が高い。5年前に比べ交通安全・防犯対策、人権問題等が上昇

「鉄道の運賃問題対策」や防災対策、緊急医療体制、消防・救急体制、防犯対策などの重要度が高い。この5年間では、「交通安全対策や防犯対策」、「差別、偏見、虐待などを防止する人権対策」、「男女共同参画社会づくり」などで重要度が上昇している。

子育て支援について

20～40歳代女性では保育園等の費用や医療費などの金銭的負担軽減や医療体制の充実が多い

全体では「いじめや差別をなくす教育の推進」(33.1%)が最も多いが、子育て期である20～30歳代の女性では、「保育園や幼稚園にかかる費用負担の軽減」や「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制」、「医療費の助成」などが他の年齢層に比べて多くなっている。

高齢期の生活について

(1) 高齢期の生活の不安について

60歳代では認知症や病気などが多く、20～40歳代では生活費の確保が最も多い

60歳代では「認知症になること」や「大病を患うこと」、「移動や外出が困難になること」などが多い一方、20～40歳代の若年世代では「生活費の確保が困難になること」が最も多い。

(2) 高齢期の就労について

収入になる仕事をしたい人は6割強。30～50歳代では7～8割強と多い

収入になる仕事をしたい人は62.6%で、高齢期の生活の不安で生活費の確保に不安を持っている人が多い30～50歳代では75.9～82.7%と就労意向が強い。仕事をしたい理由については、10歳代以外の年齢層では「生きがいや健康を維持するため」が最も多くなっているが、50歳代以下では「生活費のため」が50%以上と多い。

(3) 高齢期の活動について

「趣味や特技を伸ばす活動」や「スポーツ・レクリエーション活動」へのニーズが高い

すべての年齢層で「趣味や特技を伸ばす活動」が最も多く、特に40歳代以下で比率が高い。

防災について

(1) 大地震が発生した場合に心配なこと

全体ではライフラインの停止が多いが、白井第一・第二地区では自宅の倒壊が6割以上と多い

全体では、「ライフラインが停止すること」(54.9%)が5割強と最も多いが、地区別にみると、白井第一地区や白井第二地区では「自宅が倒壊すること」が6割以上と多くなっている。

(2) 災害全般に関して日頃から得たい知識や情報

全体では「防災の心構えや準備」が多いが、20歳代以下では避難場所や災害情報の入手等が多い

全体では、「家庭で出来る防災の心構えや準備」(42.2%)が最も多いが、10歳代・20歳代では「連絡手段や災害情報の入手方法」や「避難場所や避難経路」などが多くなっている。

市民参加・協働によるまちづくりについて

(1) 市民参加・協働のまちづくりに必要な取り組みについて

「市民からの意見・提案を市の取り組みに十分に反映させる仕組みの推進」が4割強と多い

「市民からの意見・提案を市の取り組みに十分に反映させる仕組みの推進」(42.9%)が4割強と最も多い。次いで「市職員と市民の情報交換・情報共有の場の充実」(22.8%)、「市の情報公開制度の推進」(20.3%)も約2割と比較的が多い。

(2) 市民参加・協働のまちづくりの参加状況と取り組み主体について

今後は防災活動に取り組みたいとの意見が多い。

市民参加・協働のまちづくりの参加状況

既に取り組んでいる活動では「防犯活動」(9.0%)、「交通安全活動」(8.0%)が多い。今後取り組みたい活動では「防災活動」(35.4%)、「環境美化活動」(28.8%)などが多くなっている。

市民参加・協働のまちづくりの取り組み主体

市民中心では「交通安全」(25.0%)、市役所中心では「文化財・伝統的文化の保護」(32.5%)、市民と市役所が一緒に取り組む活動では「防災」(62.4%)、「防犯」(61.5%)が多い。

市の土地利用について

(1) 生活環境や土地利用についての問題点

店舗やサービス施設の不足や自然環境の悪化が懸念されている

「日常生活のための店舗やサービス施設が不足している」が4割弱、「農地や山林が減少し宅地化が目立ち、豊かな自然環境が損なわれている」が約3割と多い。店舗やサービス施設の不足は低年齢層で、自然環境の悪化は高年齢層で比率が高い傾向がみられる。

(2) 都市基盤に必要なことについて

市街地は拡大せずゆるやかな人口増加を目指すとの意見が最も多い

「市街地の区域は拡大せず、現在の市街地の未利用地を活用し、ゆるやかな人口増加を目指す」(44.3%)が4割強と最も多い。また、積極的な企業誘致は40~50歳代で、市街地の拡大は30歳代で比較的比率が高い。

市のまちづくりや地区のまちづくりについて

(1) 優れた景観について

「緑地や樹林地などみどり豊かな風景」が最も多い

各年齢層ともに「緑地や樹林地などみどり豊かな風景」が最も多い。また、「閑静な住宅街」は低年齢層ほど比率が高くなる傾向がみられ、40歳代以下では3割台となっている。

(2) 都市計画の規制について

「ちょうど良い」が3割強。規制が弱いと思う人は17.6%、強いと思う人は7.3%

「ちょうど良い」(33.4%)が3割強で最も多い。「規制が弱いと思う人」(「規制が弱い」と「やや弱い」の合計)は17.6%、「規制が強いと思う人」(「規制が強い」と「やや強い」の合計)は7.3%となっている。地区別では七次台で「規制が強いと思う人」がゼロとなっている。

(3) 地区の環境をより良くするために必要な規制について

高層建築物、緑を減少させる宅地開発、騒音・振動等が出る工場の立地の規制が多い。

「日照や眺望などが悪化するような高層の建物の建設を規制する」(44.2%)、「騒音・振動問題

などが発生するような工場の立地を規制する」(34.8%)、「農地やみどりが減少するような住宅の開発などを規制する」(34.6%)などが多くなっている。地区別にみると、高層建築物の規制は池の上や大山口で、宅地開発は七次台で、工場立地は白井第三地区で比率が高い。

(4) 地域のルールについて

「地域住民でルールを決めるのは困難」が4割強。参加したい人は17.8%、したくない人は19.0%

「地域住民でルールを決めるのは困難」(44.7%)が4割強で最も多い。「ルールづくりに積極的に参加したい」が17.8%、「ルールづくりに参加したいと思わない」は19.0%と拮抗している。

(5) 地域のまちづくりを進めるうえでの地域住民と市の役割分担について

「地域住民と市が話し合い、役割分担しながら協働で取り組む」が4割弱で最も多い

「地域住民と市が話し合い、役割分担しながら協働で取り組む」(39.5%)が4割弱と最も多い。また、「地域住民が主体となって取り組み、市はあくまでも側面から支援する」は4.1%と少ない。

(6) 地区の空き家の増加について

清水口、白井第一、大山口、池の上では「増えている」が10%以上と多い

全体では「増えていない」(27.9%)が3割弱で最も多いが、地区別にみると、清水口、白井第一、大山口、池の上では「増えている」が10%以上と多くなっている。

(7) 空き家の対策について

「空き家バンクなどを設置し、空き家情報を集約・発信」が3割強と多い

「市外からの移住を促進するため、空き家バンクなどを設置し、空き家情報を集約・発信」(34.4%)が3割強と最も多く、「地域におけるコミュニティ拠点として空き家を活用するための制度づくり」(21.5%)も2割以上と比較的が多い。

自治会の加入について

(1) 自治会(区・町会含む)の加入状況について

加入率は71.9%、低年齢層ほど加入率が低い

「加入している」のは71.9%で、低年齢層ほど加入率が低く、20歳代以下では50%を切っている。加入しない理由は「住んでいる地域に自治会がないため」(29.4%)、「忙しくて暇がないから」(26.0%)、「自治会に加入するメリットがないため」(21.6%)などが多い。

市の職員や行財政改革について

(1) 市の職員に求められる職員像として重要なもの

「市民の目線で考え、信頼される職員」が5割強で最も多い

「市民の目線で考え、信頼される職員」(55.0%)が5割強と最も多い。「市民のニーズに柔軟に対応できる職員」(42.0%)、「市民にわかりやすく説明できる職員」(40.2%)も4割台と多い。

(2) 行財政改革の取り組みについて特に力を入れる必要があること

民間手法の導入や支出管理の厳密化、組織のスリム化等、合理化・無駄の削減に関する意見が多い

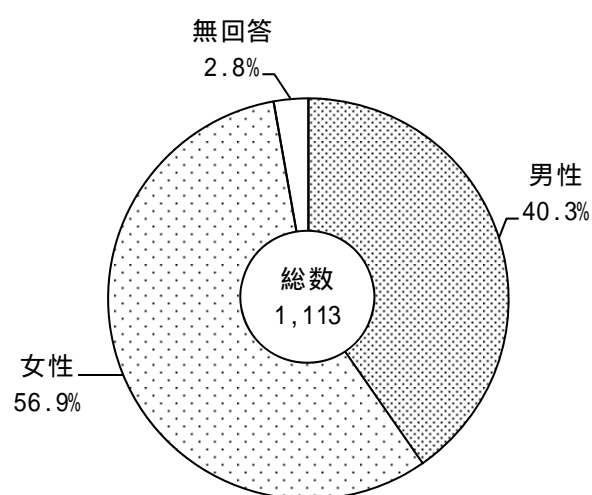
「民間の経営手法を見習い、合理的な行財政運営を行う」(31.7%)、「公費の支出を厳しく管理・報告する」(27.2%)、「市の組織をスリムにする」(25.4%)などが多くなっており、合理化や無駄の削減に関する意見が多い。

アンケート調査結果

1 回答者属性

(1) 性別

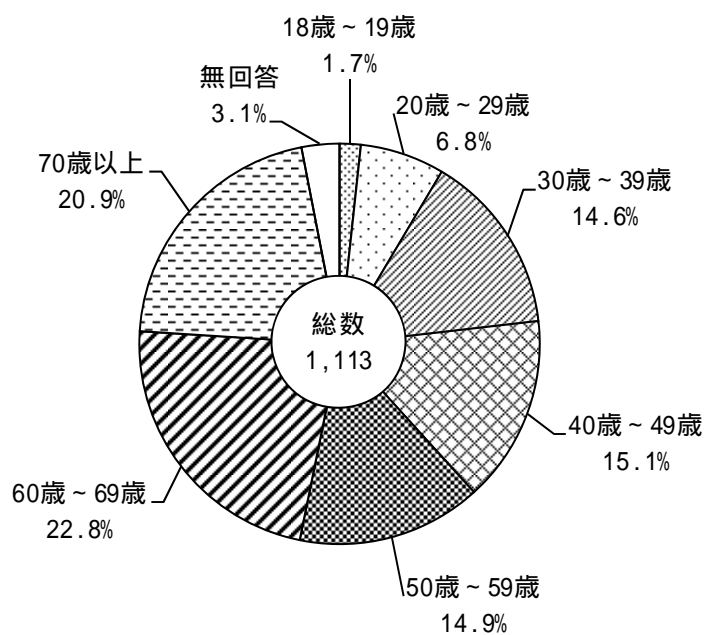
【問27】あなたの性別はどちらですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



「女性」が56.9%、「男性」が40.3%となっている。

(2) 年齢

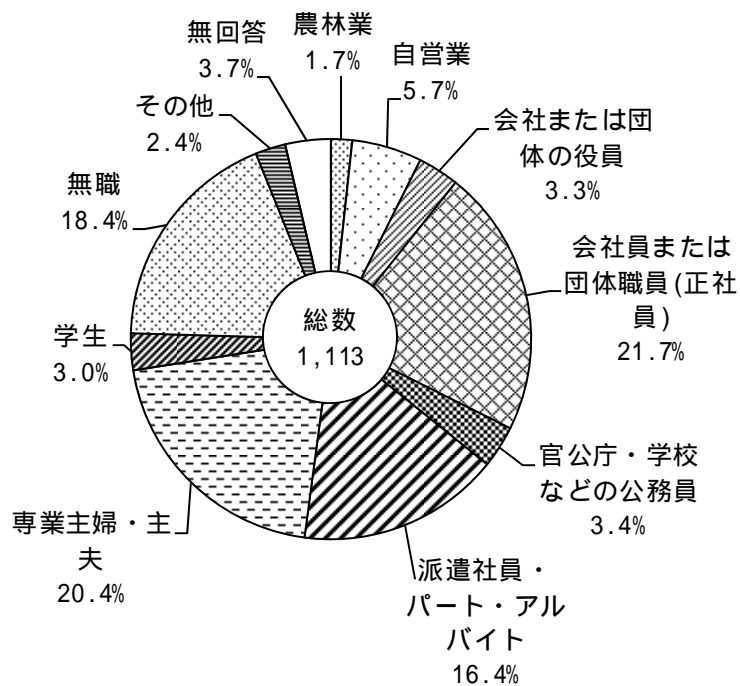
【問28】あなたの年齢は何歳ですか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。



年齢は、「60歳～69歳」が最も多く22.8%となっている。続いて「70歳以上」(20.9%)、「40歳～49歳」(15.1%)、「50歳～59歳」(14.9%)、「30歳～39歳」(14.6%)、「20歳～29歳」(6.8%)、「18歳～19歳」(1.7%)の順となっている。

(3) 職業

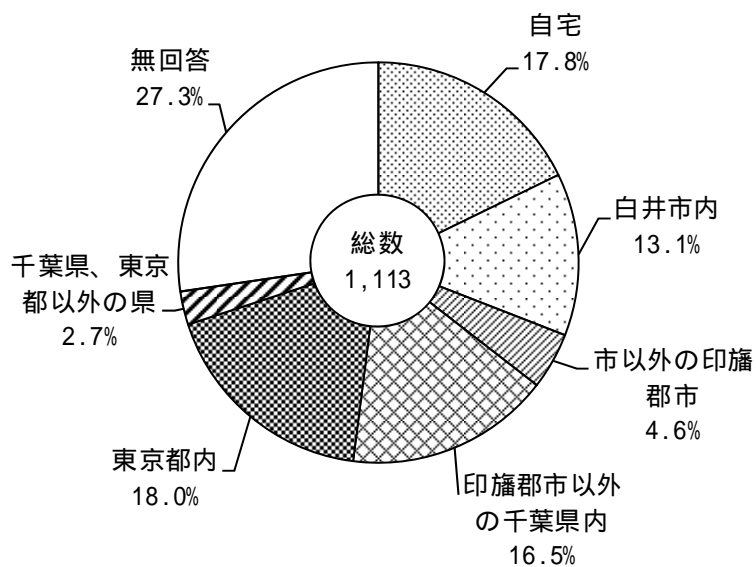
【問29】あなたの職業は何ですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



職業は、「会社員または団体職員(正社員)」が最も多く21.7%となっている。続いて「専業主婦・主夫」(20.4%)、「無職」(18.4%)、「派遣社員・パート・アルバイト」(16.4%)、「自営業」(5.7%)、「官公庁・学校などの公務員」(3.4%)、「会社または団体の役員」(3.3%)、「学生」(3.0%)、「その他」(2.4%)、「農林業」(1.7%)の順となっている。

(4) 勤務先・通勤先

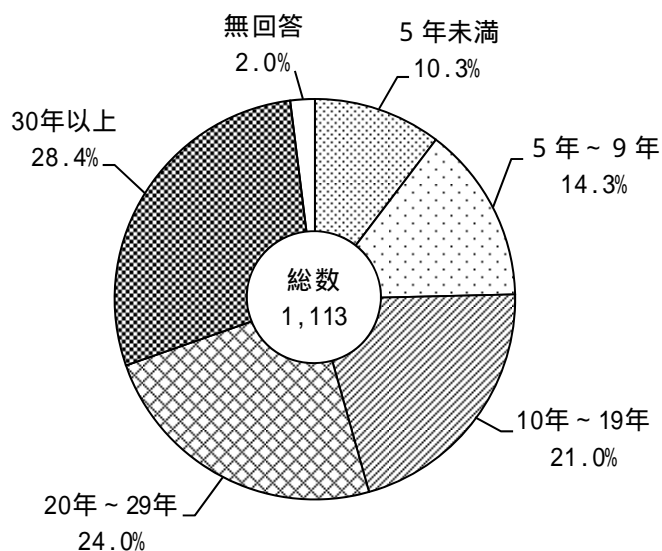
【問30】あなたの勤務先・通学先はどちらですか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。



通勤・通学先は、「東京都内」が最も多く18.0%となっている。続いて「自宅」(17.8%)、「印旛郡市以外の千葉県内」(16.5%)、白井市内(13.1%)、「市以外の印旛郡市」(4.6%)、「千葉県、東京都以外の県」(2.7%)の順となっている。

(5) 居住年数

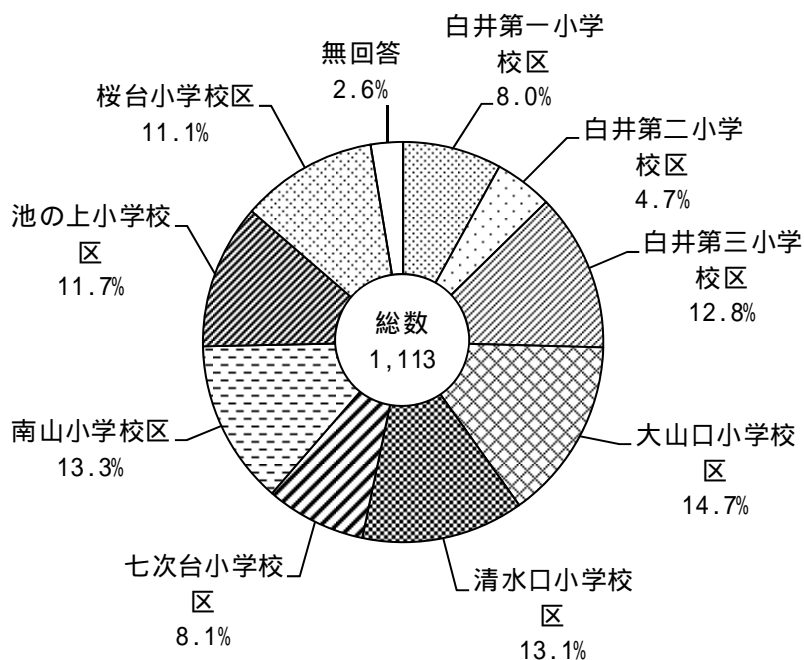
【問3 1】あなたは市に何年くらいお住まいですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



居住年数は、「30年以上」が最も多く28.4%となっている。続いて「20年~29年」(24.0%)、「10年~19年」(21.0%)、「5年~9年」(14.3%)、「5年未満」(10.3%)の順となっている。

(6) 居住地区

【問32】あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。次の選択肢から1つ選んで番号をつけてください。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校にをつけてください)

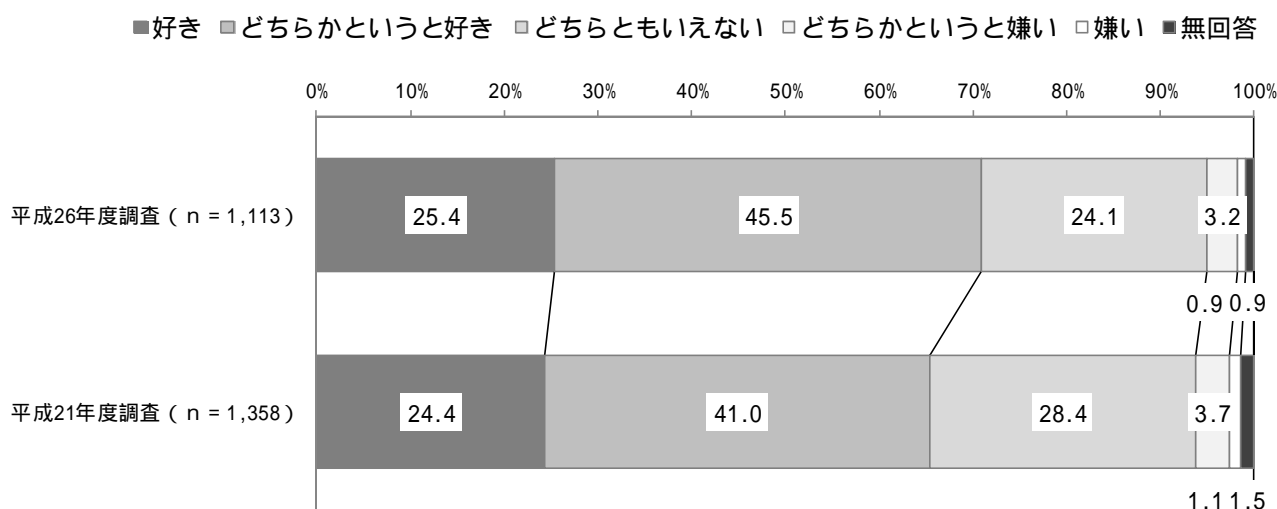


居住地区別は、「大山口小学校区」が 14.7%と最も多くなっている。続いて「南山小学校区」(13.3%)、「清水口小学校区」(13.1%)、「白井第三小学校区」(12.8%)、「池の上小学校区」(11.7%)、「桜台小学校区」(11.1%)、「七次台小学校区」(8.1%)、「白井第一小学校区」(8.0%)、「白井第二小学校区」(4.7%)の順となっている。

2 白井市で暮らすことについて

(1) 白井市について

【問1】あなたは、白井市についてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



白井市に好感を持っている回答者(「好き」(25.4%)と「どちらかという好き」(45.5%)の合計)は7割を超えている。

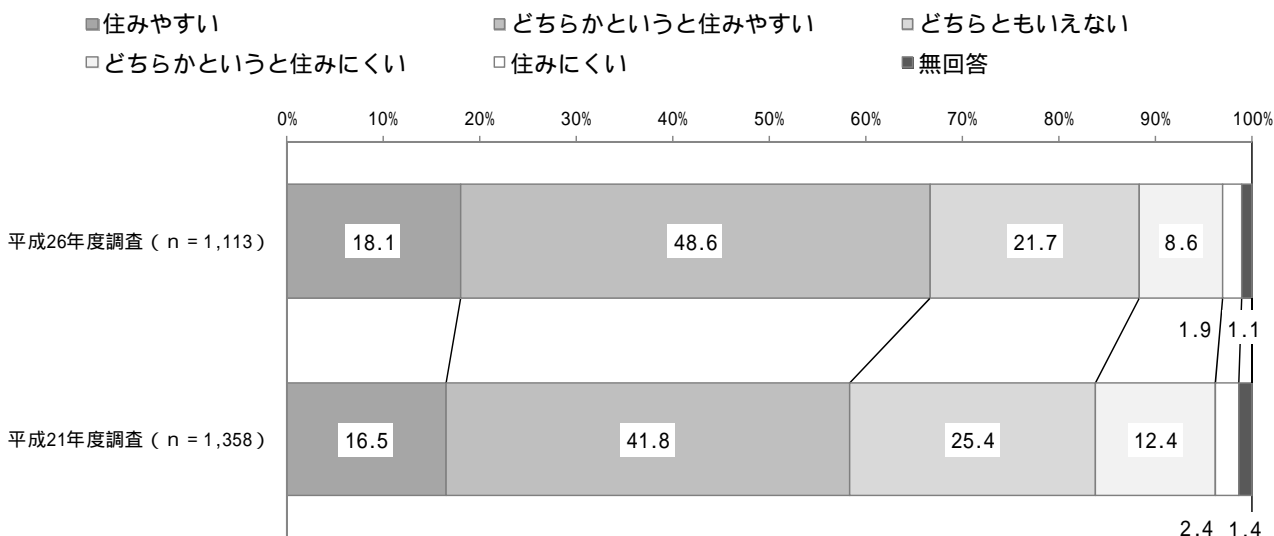
一方、白井市に好感を持っていない回答者(「嫌い」(0.9%)と「どちらかという嫌い」(3.2%)の合計)は1割未満である。

【前回調査との比較】

「好き」(25.4%)と「どちらかという好き」(45.5%)を合わせた市に好感を持っている人は70.9%と、前回調査に比べ5.5ポイント増加。

(2) 住みやすさについて

【問2】あなたは、白井市の住みやすさについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号をつけてください。



白井市に住みやすさを感じている回答者(「住みやすい」(18.1%)と「どちらかというに住みやすい」(48.6%)の合計)は6割強である。

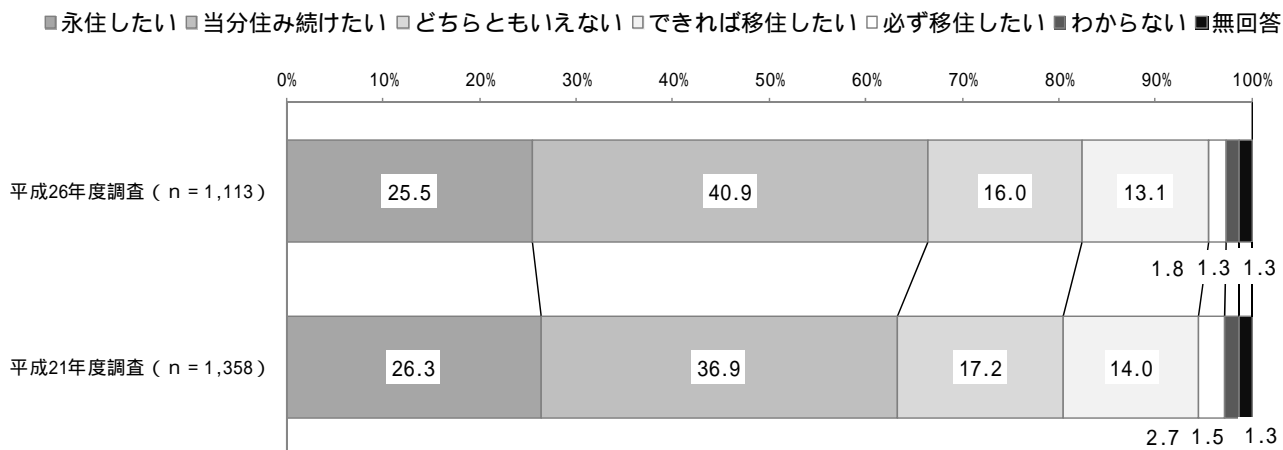
一方、白井市に住みにくいと感じている回答者(「住みにくい」(1.9%)と「どちらかというに住みにくい」(8.6%)の合計)は1割を超えている。

【前回調査との比較】

「住みやすい」(18.1%)と「どちらかというに住みやすい」(48.6%)を合わせた住みやすさを感じている人は66.7%と、前回調査に比べ8.4ポイント増加。

(3) 定住意向

【問3】あなたは、これからずっと白井市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移住したいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



白井市へ住み続けたいと考えている回答者（「永住したい」(25.5%)と「当分住み続けたい」(40.9%)の合計)は7割弱である。

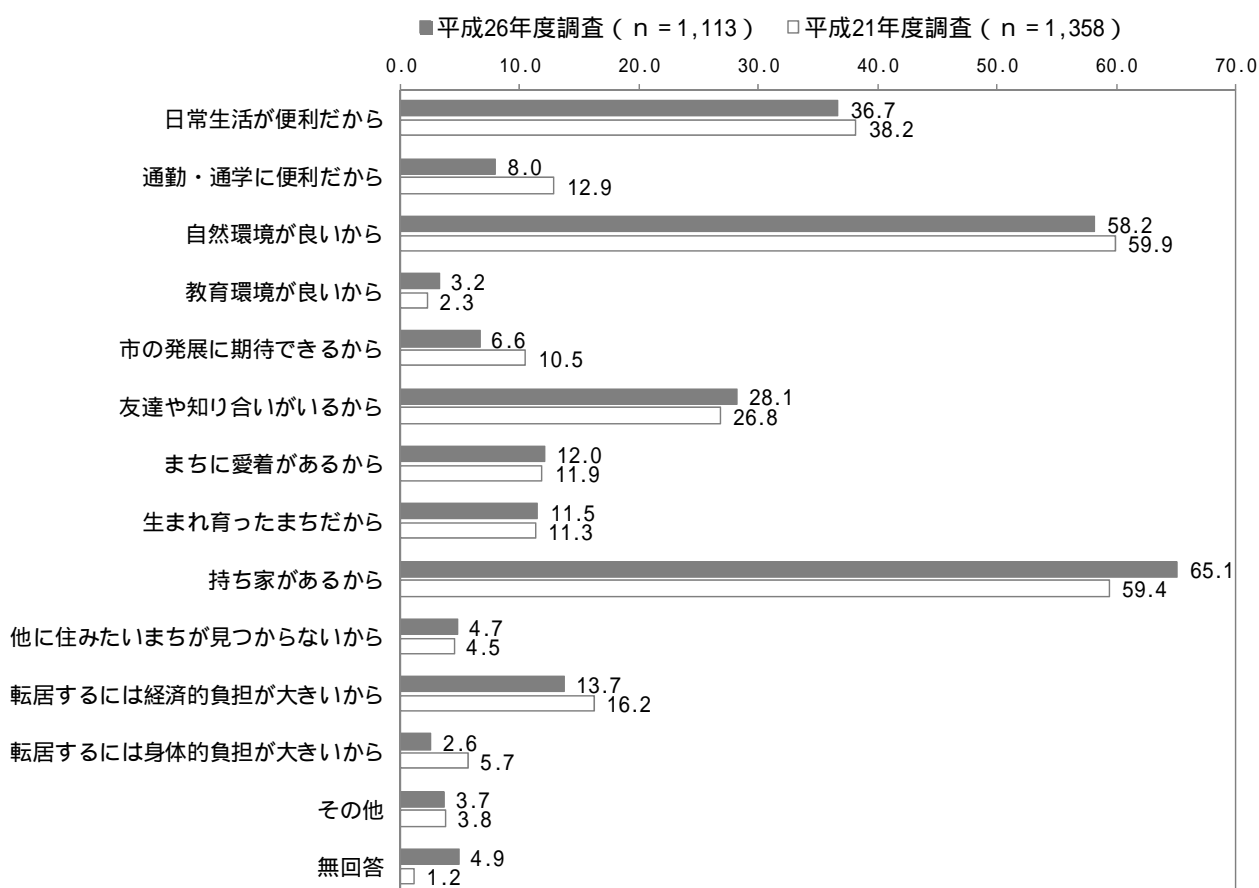
一方、移住したいと考えている回答者（「必ず移住したい」(1.8%)と「できれば移住したい」(13.1%)の合計)は1割強である。

【前回調査との比較】

「永住したい」(25.5%)は、前回調査に比べ0.8ポイント減少しているが、「永住したい」(25.5%)と「当分住み続けたい」(40.9%)を合わせた定住を希望している人は66.4%と、前回調査に比べ3.2ポイント増加。

住み続けたい理由

【問3 - 1】あなたが、白井市に住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。



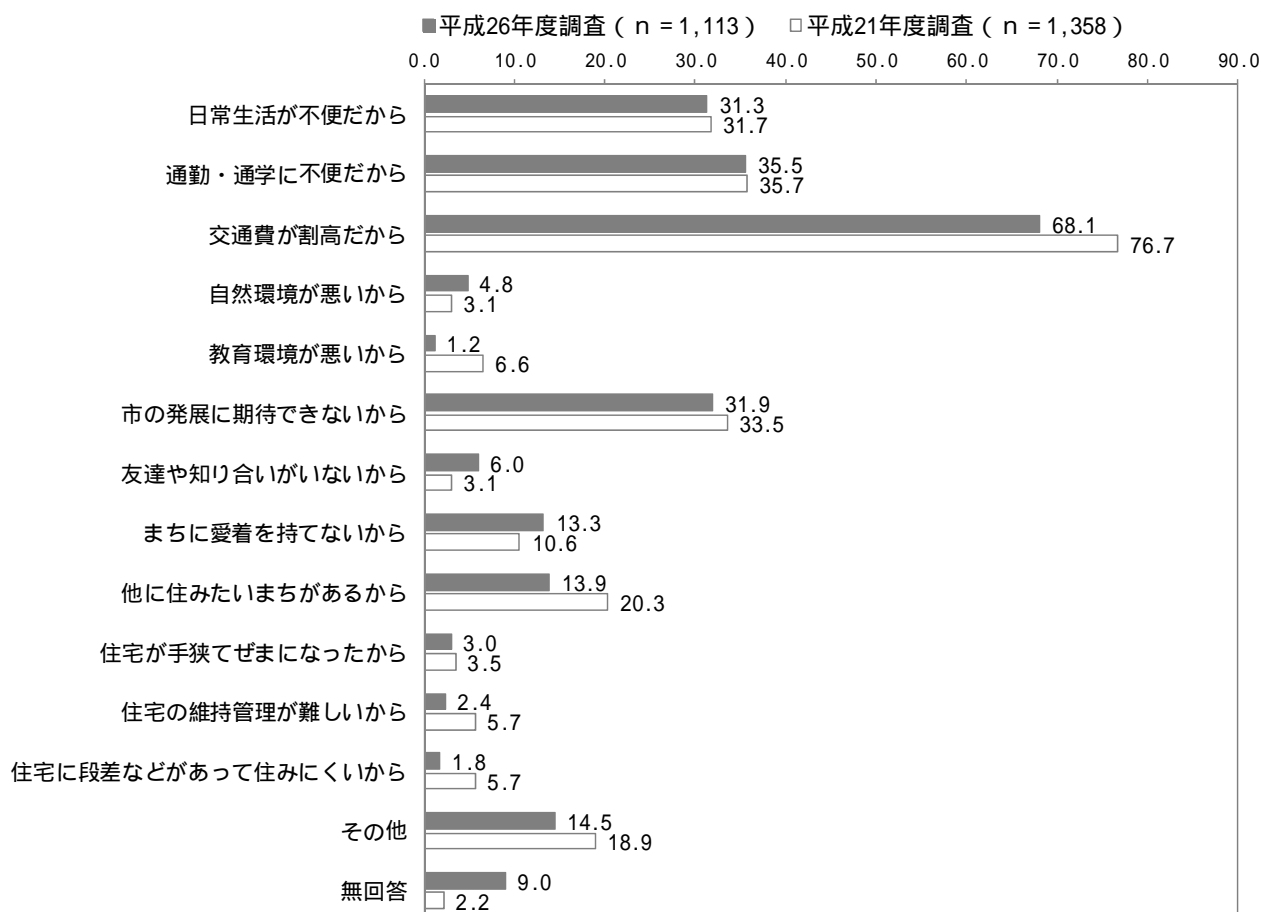
住み続けたい理由としては、「持ち家があるから」(65.1%)が7割弱と最も多くなっている。続いて「自然環境が良いから」(58.2%)、「日常生活が便利だから」(36.7%)、「友達や知り合いがいるから」(28.1%)の順となっている。

【前回調査との比較】

住み続けたい理由は、「持ち家があるから」(65.1%)、「自然環境が良いから」(58.2%)が多い。特に「持ち家があるから」は前回調査より5.7ポイント増加。

移住したい理由

【問3 - 2】あなたが、白井市から市外に移住したい理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。



移住したい理由としては、「交通費が割高だから」(68.1%)が7割弱と最も多くなっている。続いて「通勤・通学に不便だから」(35.5%)、「市の発展に期待できないから」(31.97%)、「日常生活が不便だから」(31.3%)の順となっている。

【前回調査との比較】

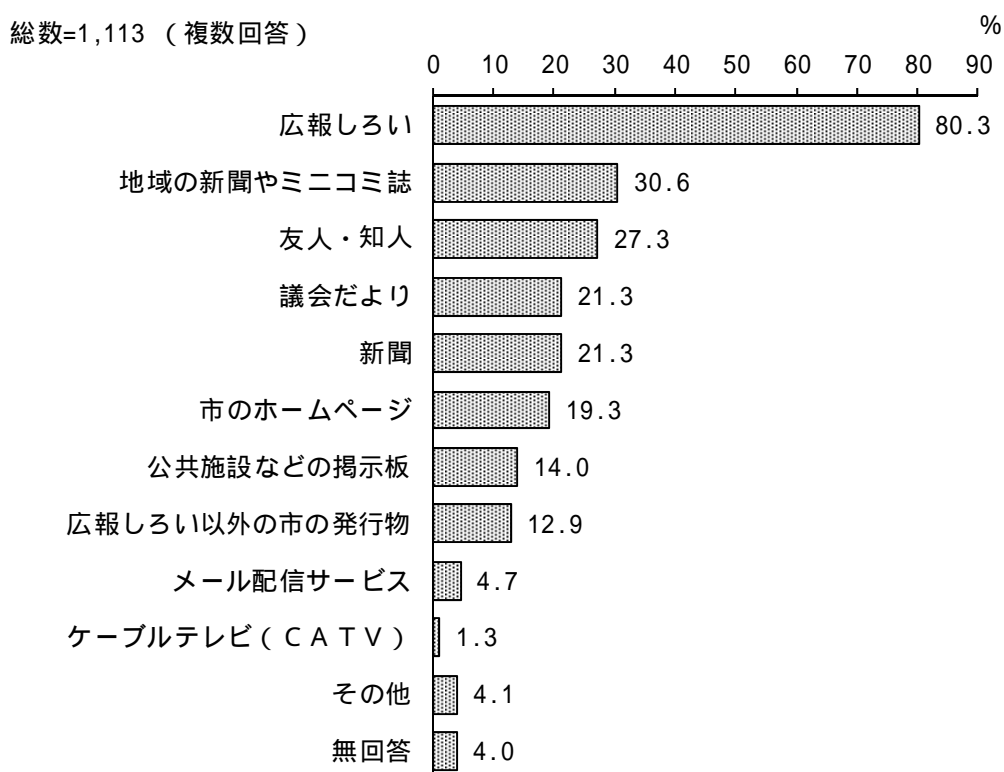
移住したい理由は、「交通費が割高だから」(68.1%)、「通勤・通学に不便だから」(35.5%)が多い。

「交通費が割高だから」は前回調査に比べ8.6ポイント減少。

3 市政について

(1) 市政情報の入手方法

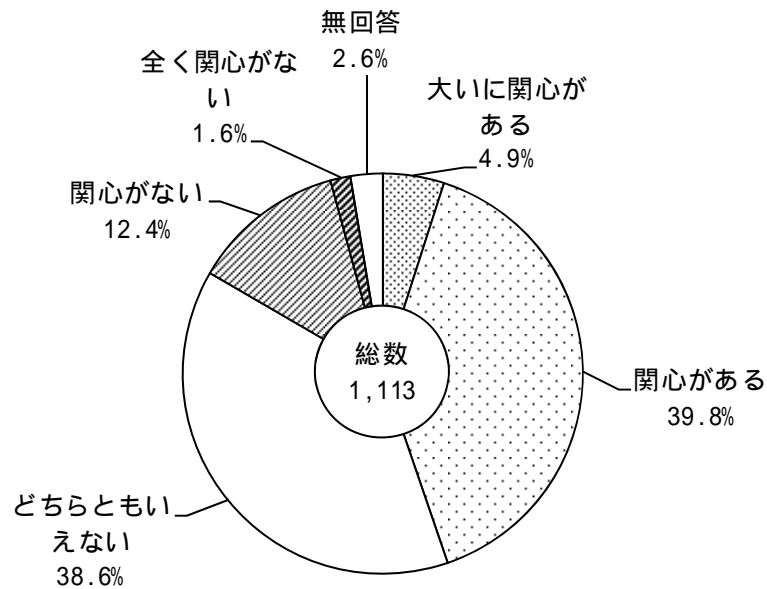
【問4】あなたは、市の情報をどこから入手していますか。次の中から該当するものすべてを選んで番号に をつけてください。



市政情報の入手方法は、「広報しろい」(80.3%)が8割を超えて最も多くなっている。続いて「地域の新聞やミニコミ誌」(30.6%)、「友人・知人」(27.3%)の順となっている。

(2) 市政への関心

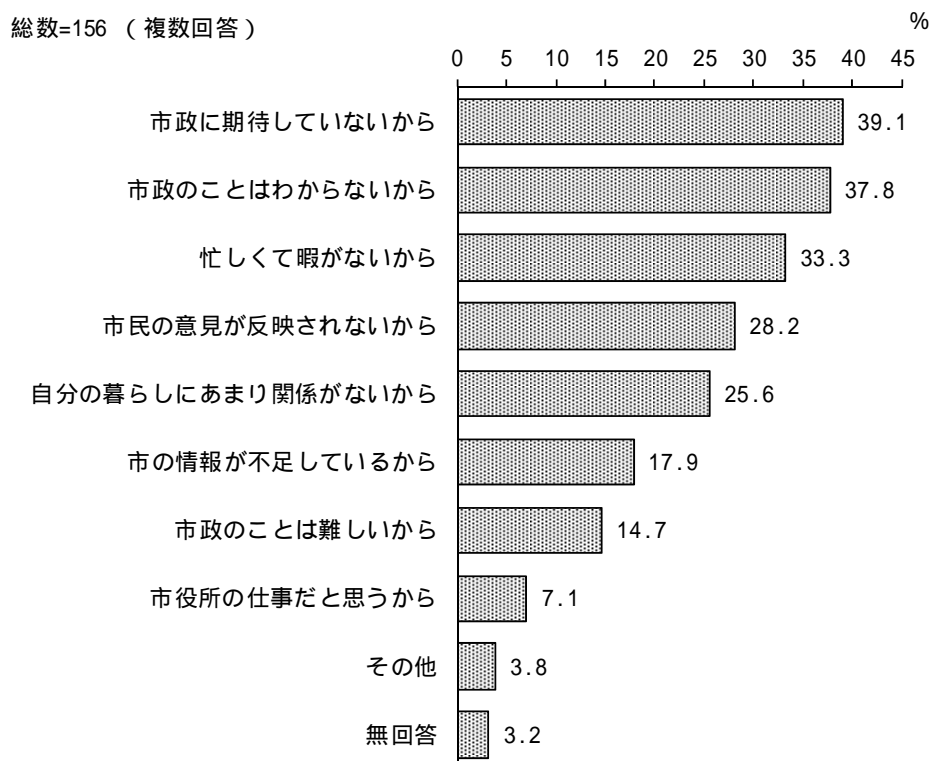
【問5】あなたは、市政にどの程度関心を持っていますか。次の中から1つ選んで番号をつけてください。



市政に関心を持っている回答者（「大いに関心がある」(4.9%)と「関心がある」(39.8%)の合計)は4割強となっている。一方、市政に関心を持っていない回答者（「関心がない」(12.4%)と「全く関心がない」(1.6%)の合計)は1割強である。

市政に関心がない理由

【問5 - 1】あなたが、市政に関心がない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号をつけてください。



市政に関心がない理由としては、「市政に期待していないから」(39.1%)と「市政のことはわからないから」(37.8%)が4割弱と最も多くなっている。続いて「忙しくて暇がないから」(33.3%)、「市民の意見が反映されないから」(28.2%)、「自分の暮らしにあまり関係がないから」(25.6%)の順となっている。

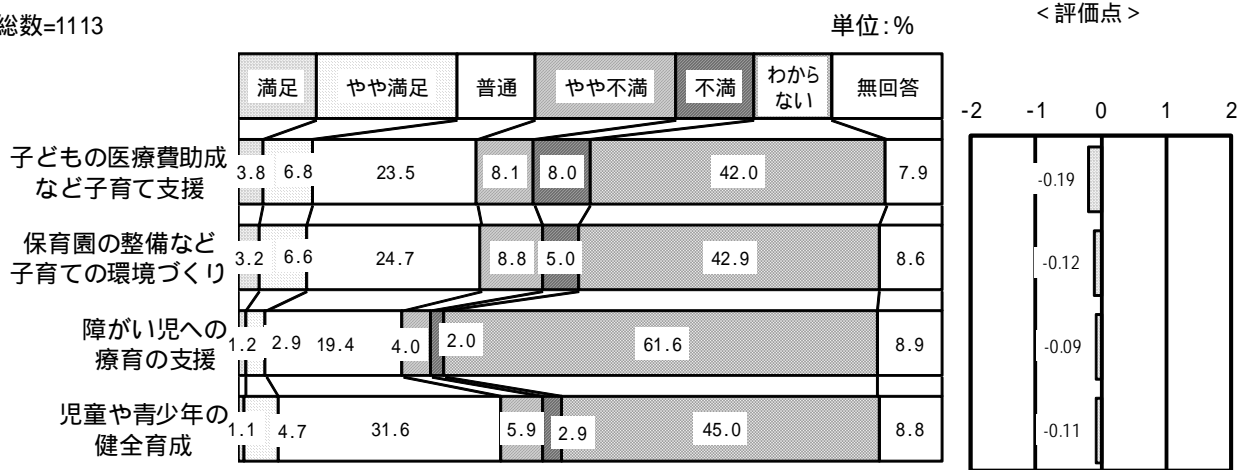
4 市の取り組みについて

【問6】次に示した市の取り組みについて、あなたの現在の満足度はいかがですか。また、あなたにとってのこれからの重要度はどのようにお考えですか。60の取り組みのすべてについて、満足度と重要度をそれぞれ1つずつ選んで番号にをつけてください。

(1) 施策の満足度

子育て

総数=1113



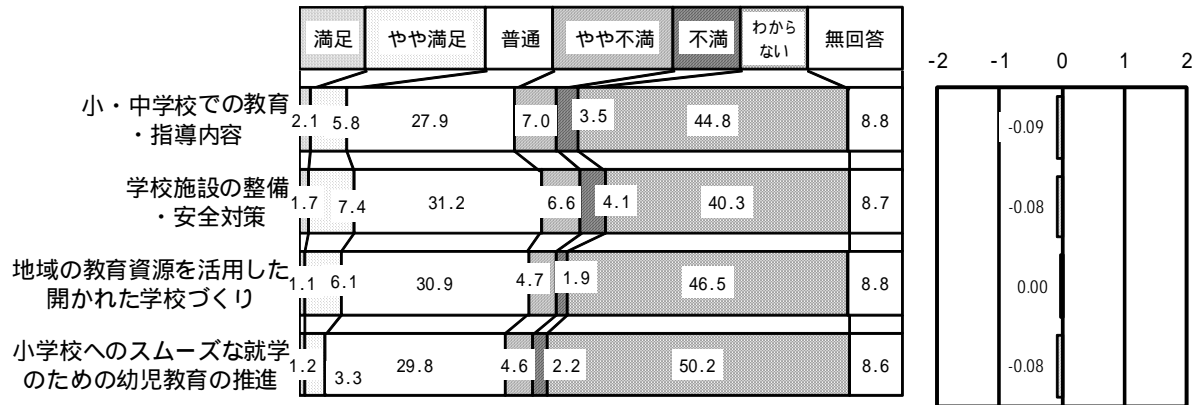
全体的に「満足派（「満足」と「やや満足」の合計）」の比率が低く、「不満派（「不満」と「やや不満」の合計）」の比率が高くなっている。なかでも「子どもの医療費助成などの子育て支援」、「保育園の整備など子育て環境づくり」について「不満派」の比率が高くなっている。

教育

総数=1113

単位：%

< 評価点 >



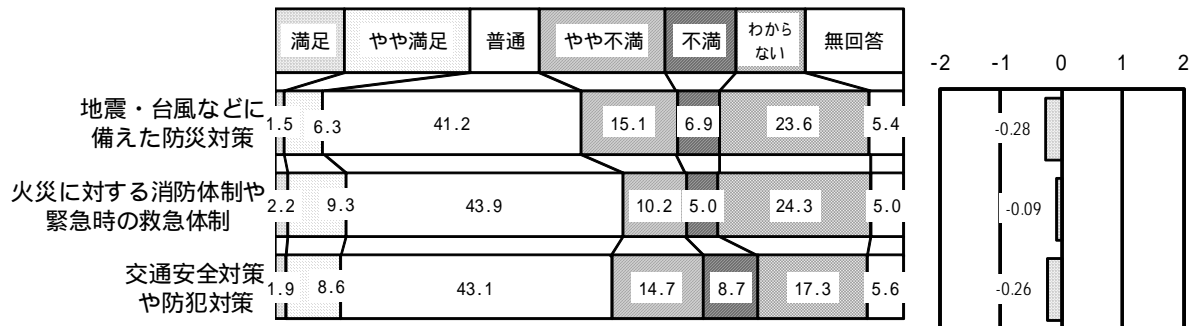
全体的に「満足派」の比率が低く、「不満派」の比率が高くなっている。なかでも「学校施設の整備・安全対策」、「小・中学校での教育・指導内容」について「不満派」の比率が高くなっている。

防災・防犯

総数=1113

単位：%

<評価点>



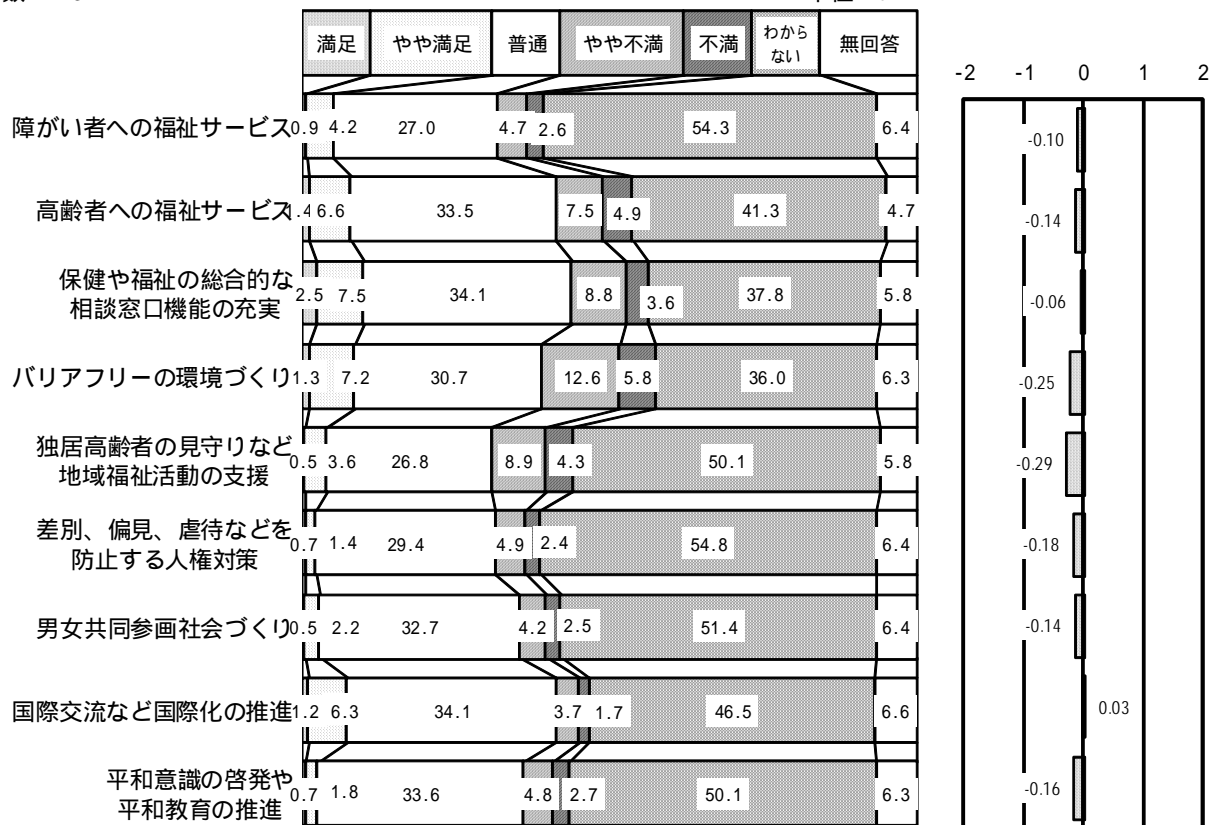
「火災に対する消防体制や緊急時の救急体制」は、相対的に「満足派」の比率が高く、「交通安全対策や防犯対策」、「地震・台風などに備えた防災対策」については「不満派」の比率が高くなっている。

福祉

総数=1113

単位:%

<評価点>



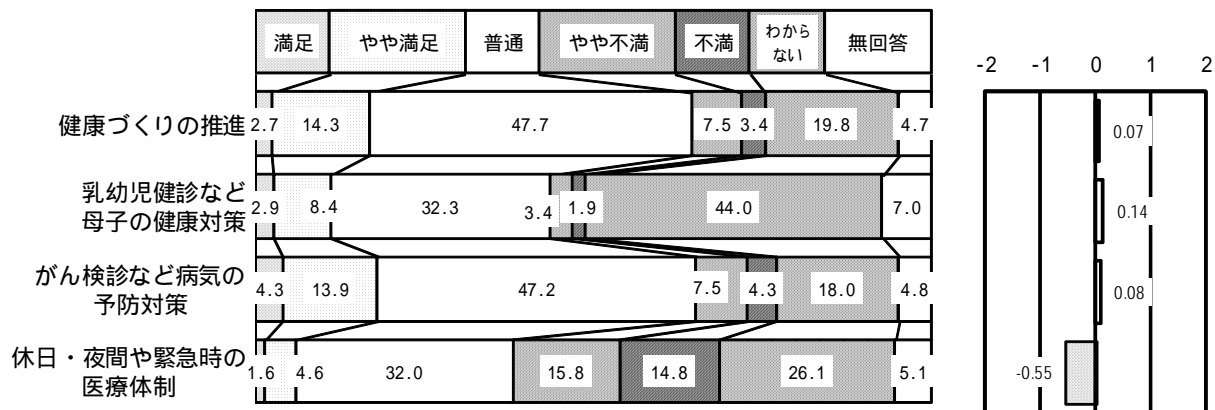
全体的に「満足派」の比率が低く、「不満派」の比率が高くなっている。なかでも「バリアフリーの環境づくり」、「高齢者への福祉サービス」、「保健や福祉の総合的な相談窓口機能の充実」について「不満派」の比率が高くなっている。

健康・保健・医療

総数=1113

単位:%

<評価点>



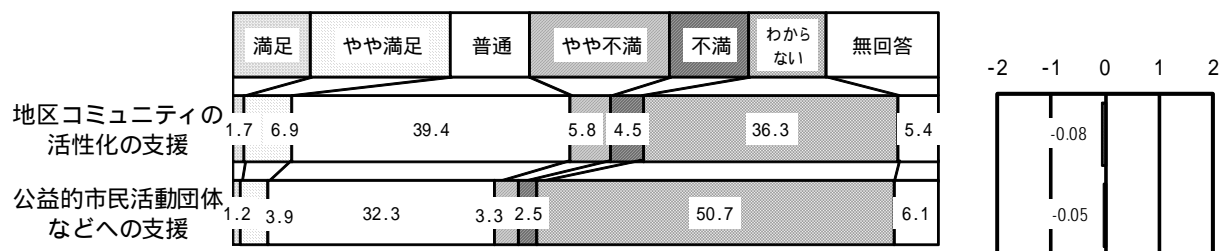
「がん検診など病気の予防対策」、「健康づくりの推進」については、「満足派」の比率が高く、「休日・夜間や緊急時の医療体制」は「不満派」の比率が高いことが特徴的である。

市民活動

総数=1113

単位: %

<評価点>



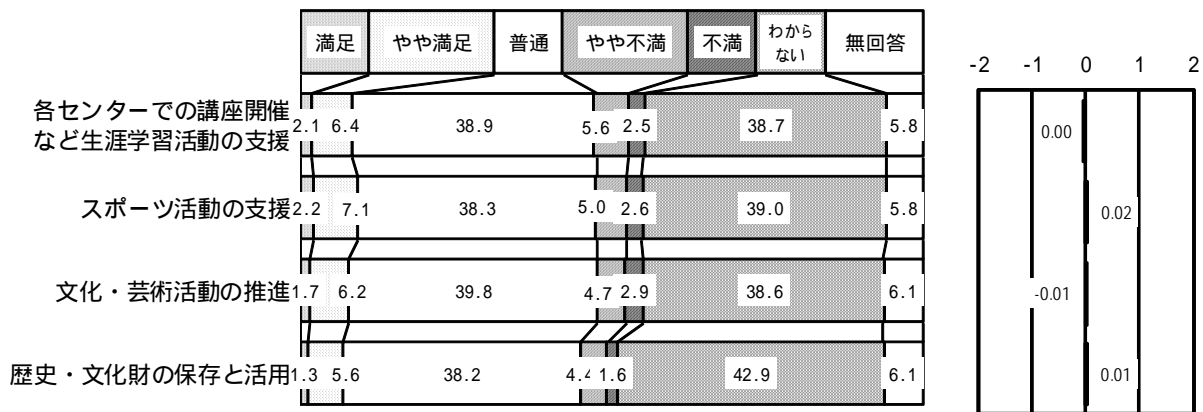
全体的に「満足派」の比率が低く、「不満派」の比率が高くなっている。なかでも「地域コミュニティの活性化支援」について「不満派」の比率が高くなっている。

生涯学習

総数=1113

単位:%

<評価点>



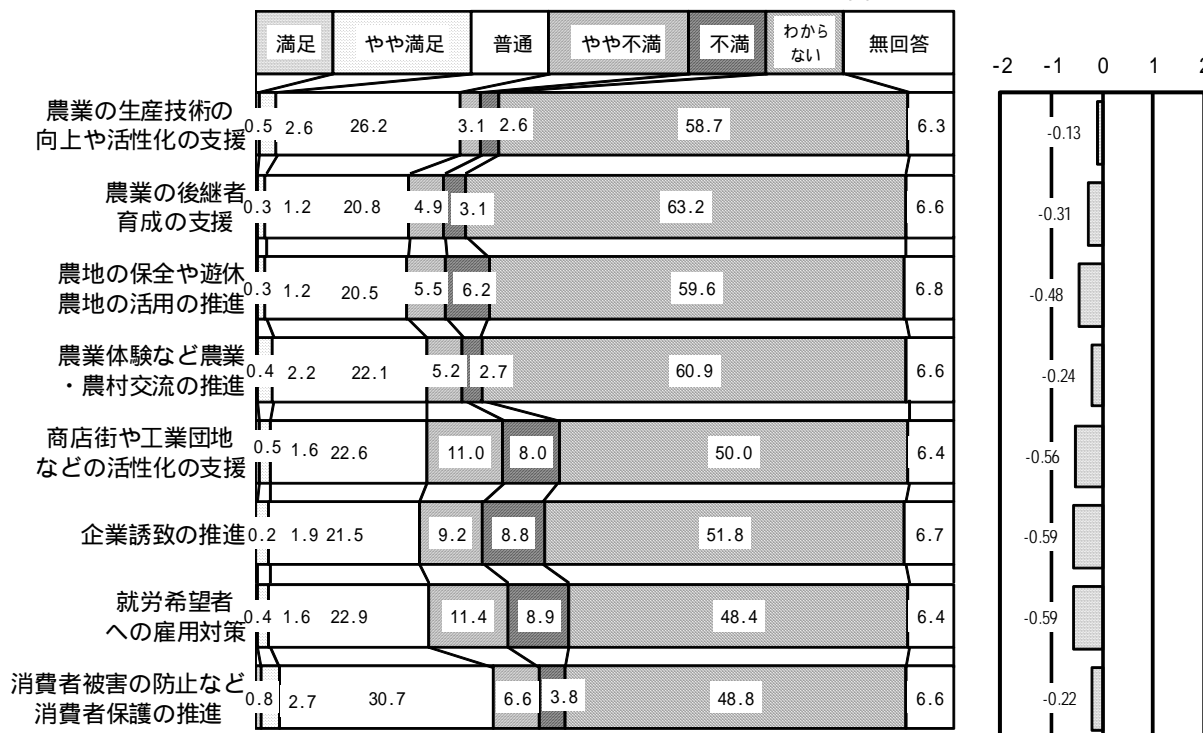
全体的に「満足派」の比率が高く、なかでも「スポーツ活動の支援」で高くなっている。一方、「各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援」については「不満派」の比率も高くなっている。

産業振興

総数=1113

単位:%

<評価点>



全体的に「満足派」の比率が低く、「不満派」の比率が高くなっている。なかでも「就労希望者への雇用対策」、「商店街や工業団地などの活性化の支援」、「企業誘致の推進」について「不満派」の比率が高くなっている。

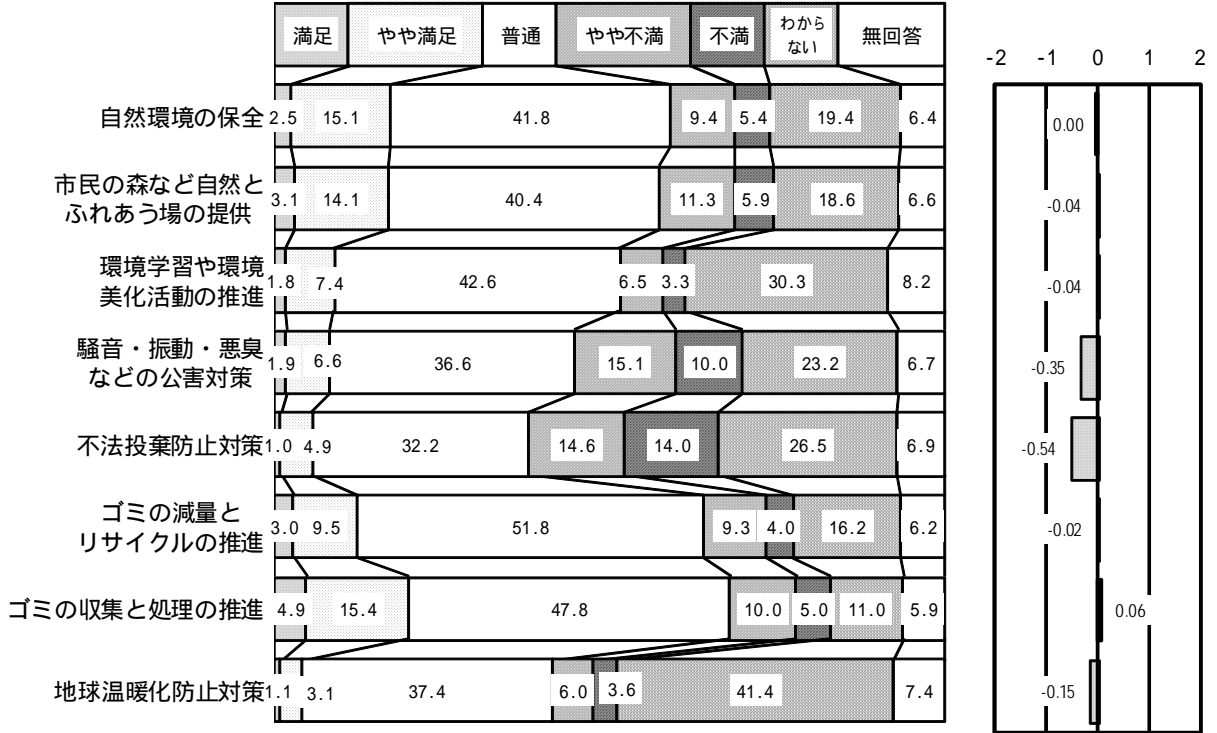
また、「わからない」との回答の比率が高くなっている。

自然環境・生活環境

総数=1113

単位:%

<評価点>



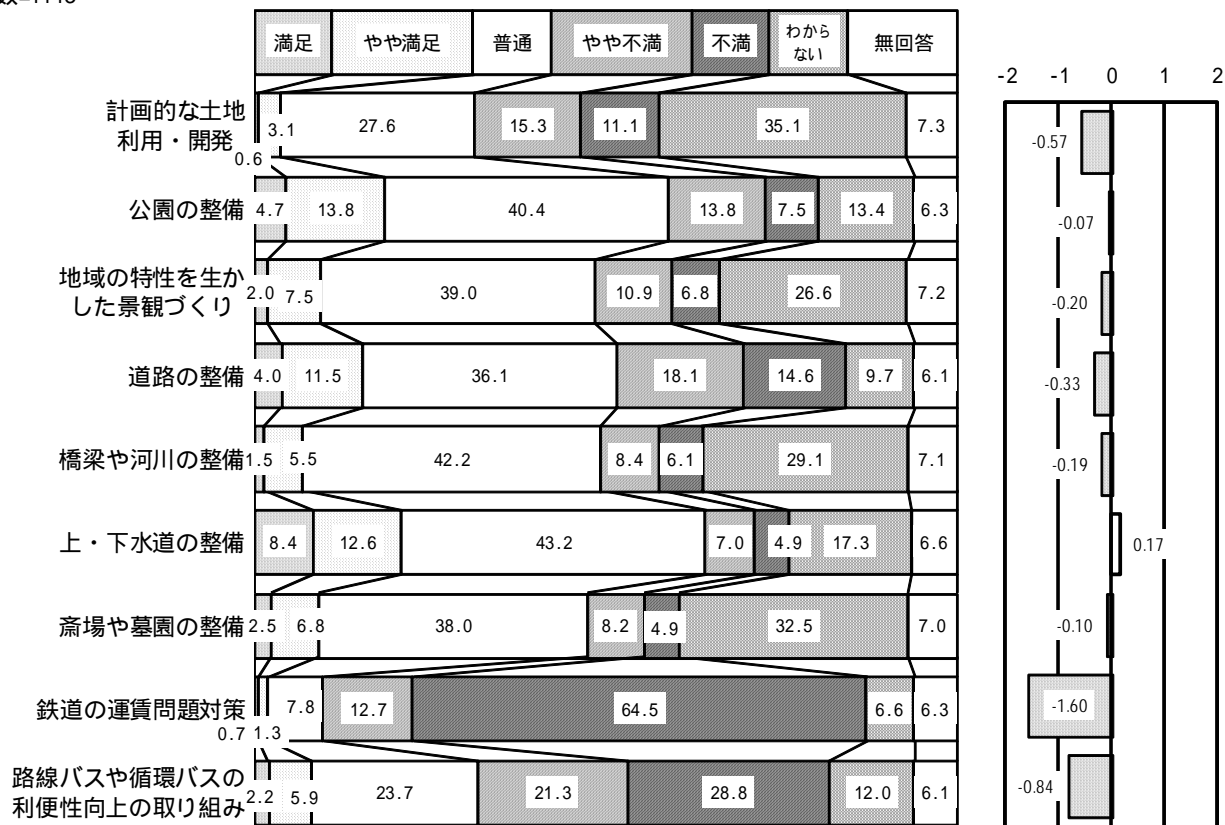
「ゴミ収集と処理の推進」、「自然環境の保全」については、「満足派」の比率が高く、「不法投棄防止対策」、「騒音・振動・悪臭などの公害対策」は「不満派」の比率が高いことが特徴的である。

住環境・生活基盤

総数=1113

単位:%

<評価点>



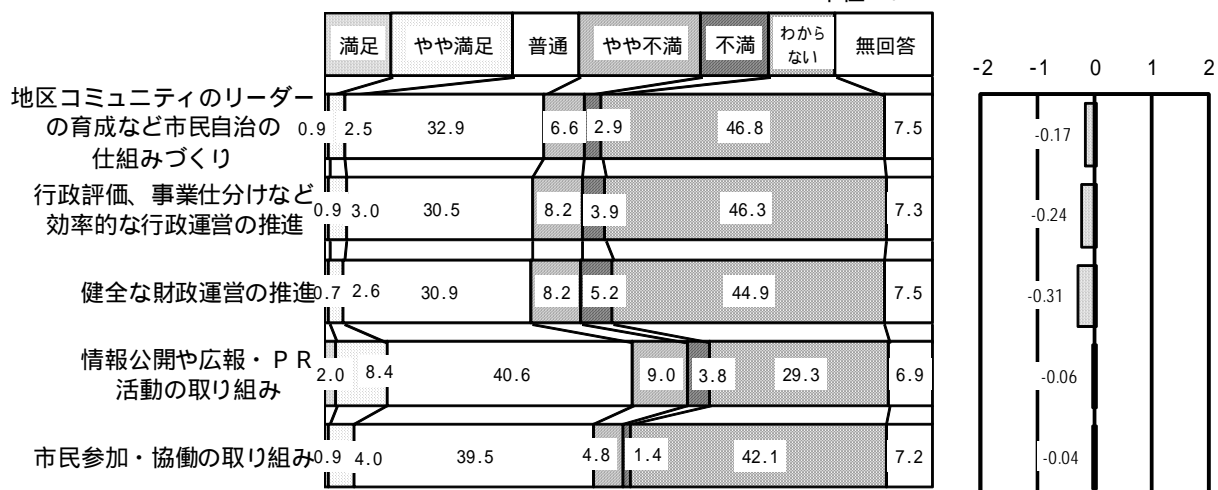
「上・下水道の整備」を除くと全体的に「満足派」の比率が低く、「不満派」の比率が高くなっている。なかでも「鉄道の運賃問題対策」、「路線バスや循環バスの利便性向上の取り組み」は「不満派」の比率が高くなっている。

行財政・市民参加・協働

総数=1113

単位:%

<評価点>



全体的に「満足派」の比率が低く、「不満派」の比率が高くなっている。なかでも「健全な財政運営」、「情報公開や広報・PR活動の取り組み」、「行政評価、事業仕分けなど効率的な行政運営の推進」について「不満派」の比率が高くなっている。

また、「わからない」との回答の比率が高くなっている。

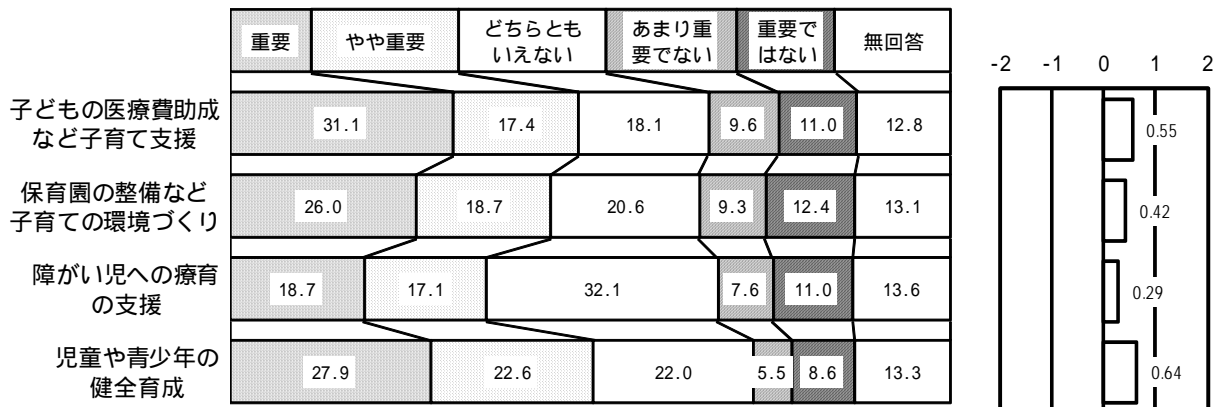
(2) 施策の重要度

子育て

総数=1113

単位:%

<評価点>



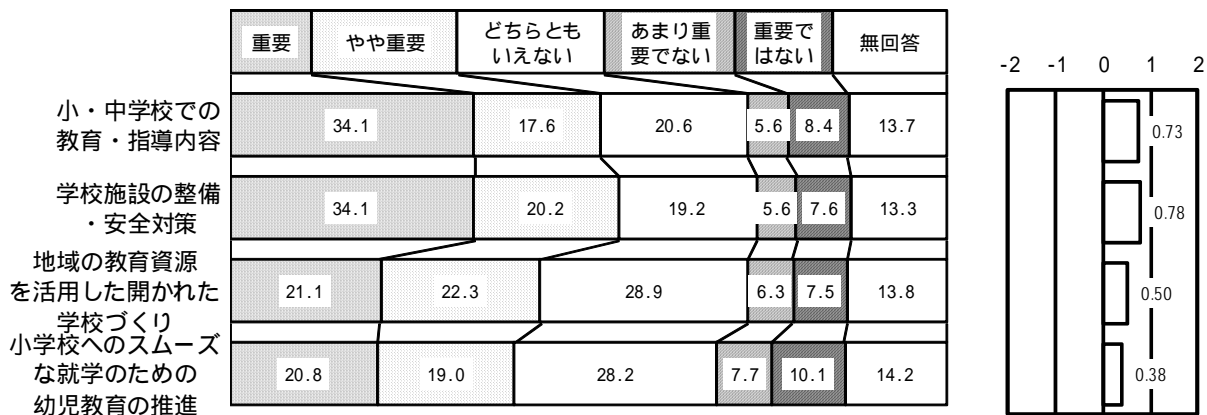
全体的に「重要派(「重要」と「やや重要」の合計)」の比率が高く、なかでも「児童や青少年の健全育成」、「子どもの医療費助成など子育て支援」、「保育園の整備など子育ての環境づくり」が高くなっている。

教育

総数=1113

単位：%

<評価点>



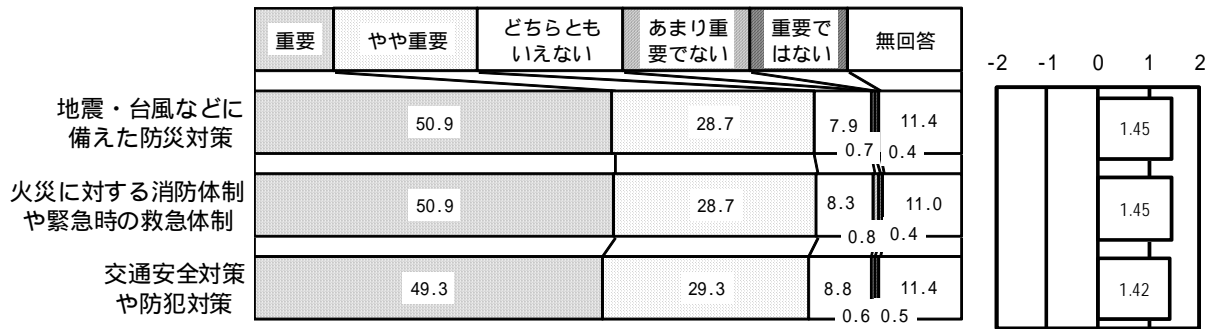
「学校施設の整備・安全対策」、「小・中学校での教育・指導内容」で「重要派」の比率が高く、5割を超えている。

防災・防犯

総数=1113

単位:%

<評価点>



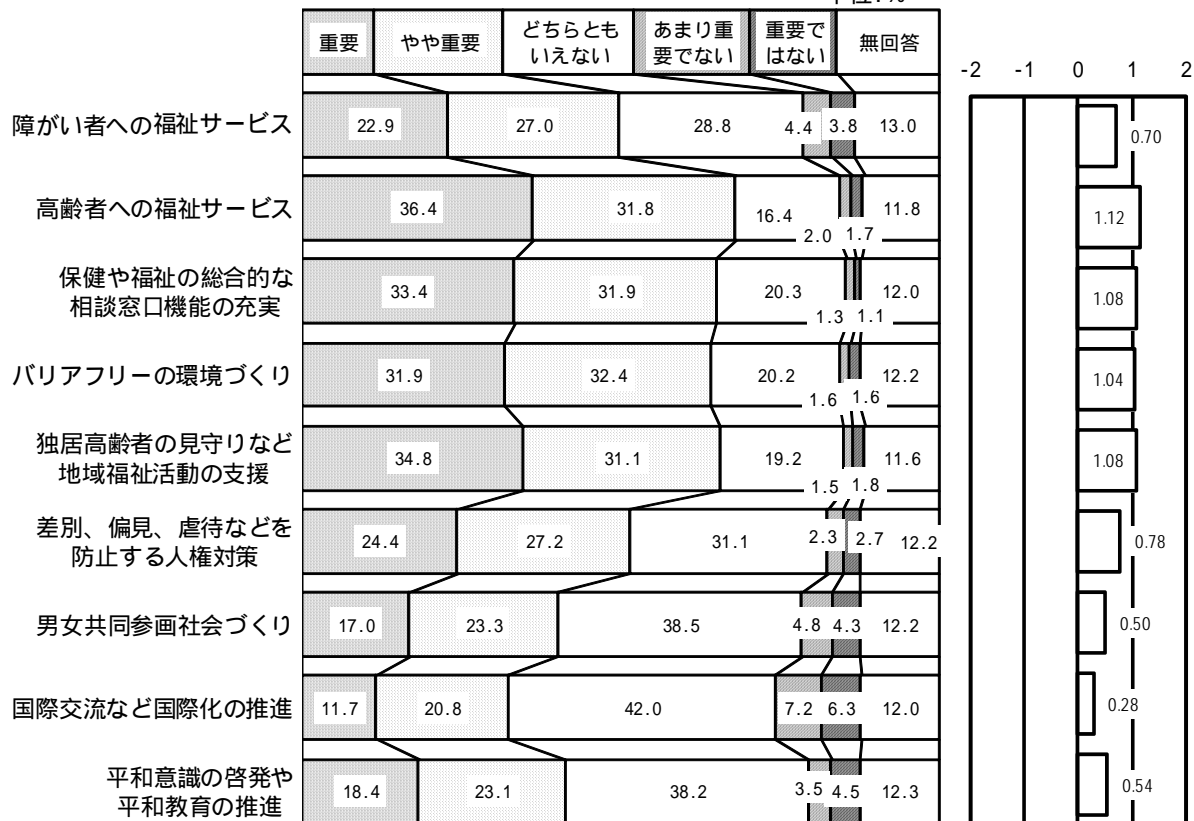
すべての施策について「重要派」が7割を超えている。

福祉

総数=1113

単位:%

<評価点>



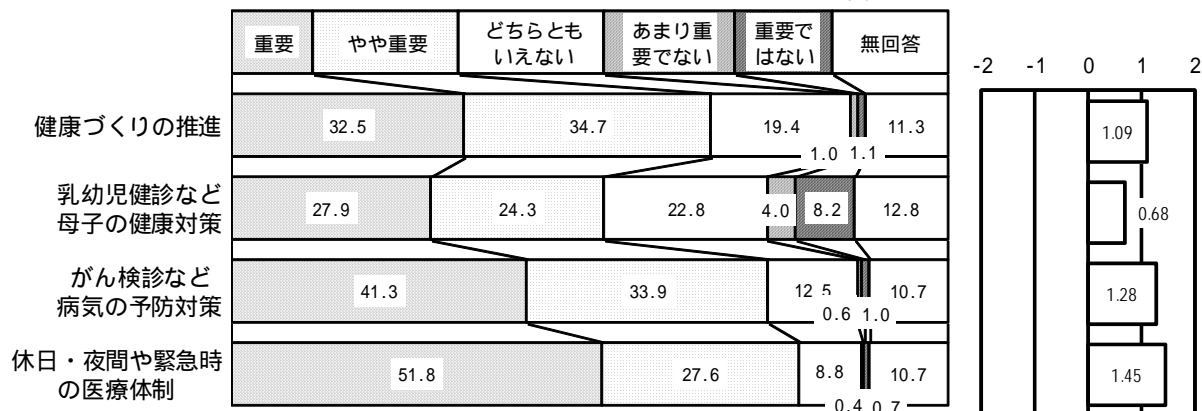
「高齢者への福祉サービス」、「独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援」、「保健や福祉の総合的な相談窓口機能の充実」、「バリアフリーの環境づくり」については「重要派」が6割を超えている。「差別、偏見、虐待などを防止する人権対策」、「障がい者への福祉サービス」の「重要派」の比率も高くなっている。

健康・保健・医療

総数=1113

単位:%

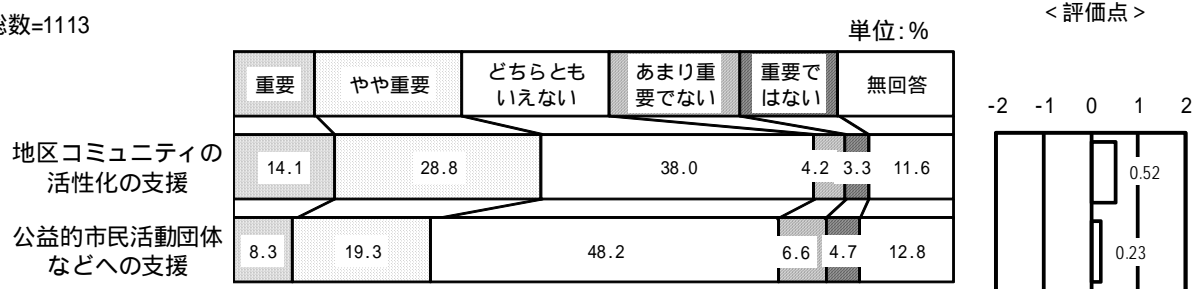
<評価点>



すべての施策について「重要派」が5割を超えている。なかでも「休日・夜間や緊急時の医療体制」、「がん検診など病気の予防対策」については「重要派」の比率が7割を超えている。

市民活動

総数=1113



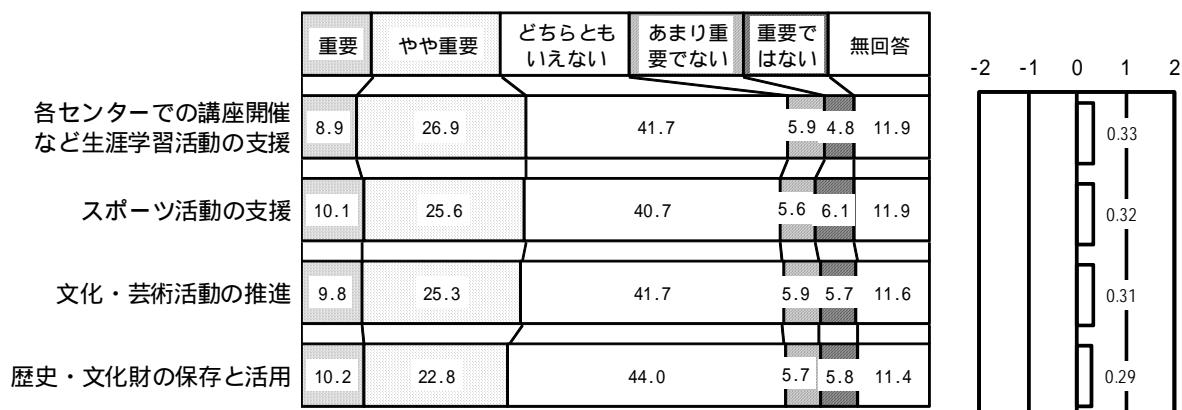
全体的に「重要派」の比率が高く、なかでも「地域コミュニティの活性化の支援」が高くなっている。

生涯学習

総数=1113

単位:%

<評価点>



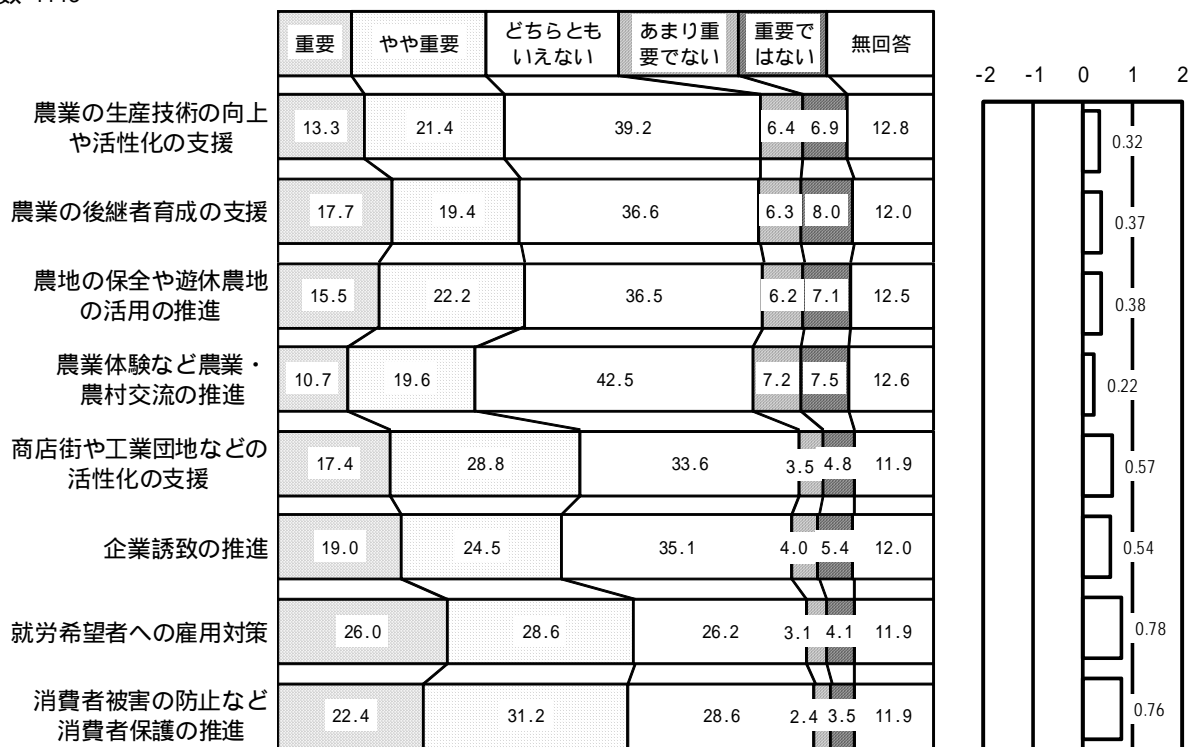
すべての施策について「重要派」が3割を超えている。

産業振興

総数=1113

単位:%

<評価点>



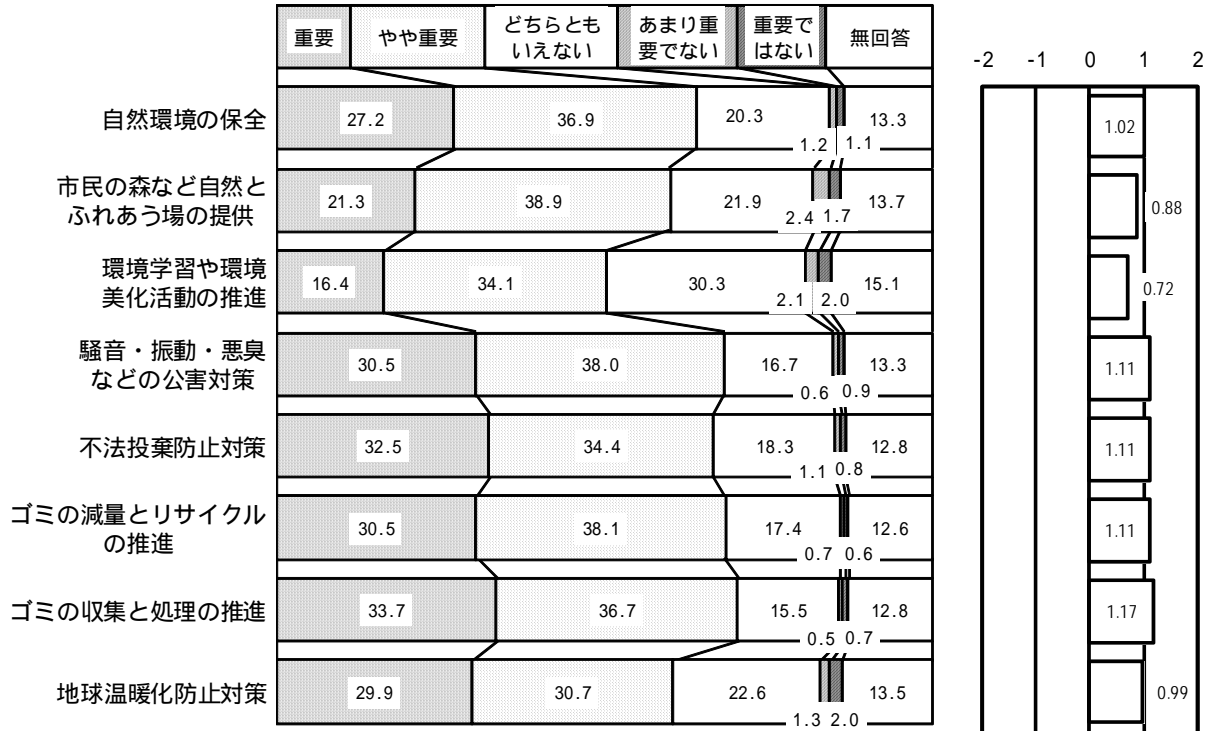
すべての施策について「重要派」が3割を超えている。なかでも「就労希望者への雇用対策」、「消費者被害の防止など消費者保護の推進」については「重要派」の比率が5割を超えている。

自然環境・生活環境

総数=1113

単位:%

<評価点>



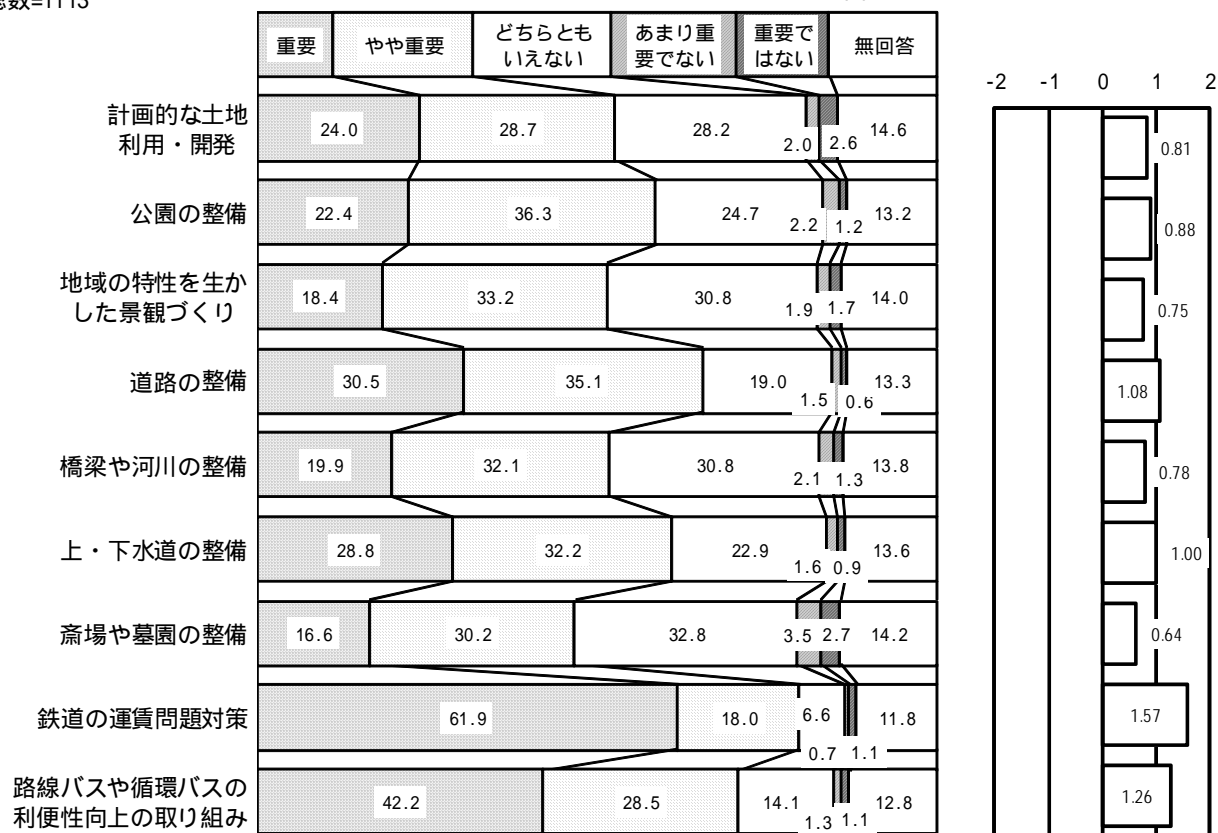
すべての施策について「重要派」が5割を超えている。「環境学習や環境美化活動の推進」は「重要派」が50.5%となっているが、それ以外については「重要派」が6割を超えている。なかでも「ゴミの収集と処理の推進」については「重要派」の比率が7割を超えている。

住環境・生活基盤

総数=1113

単位:%

<評価点>



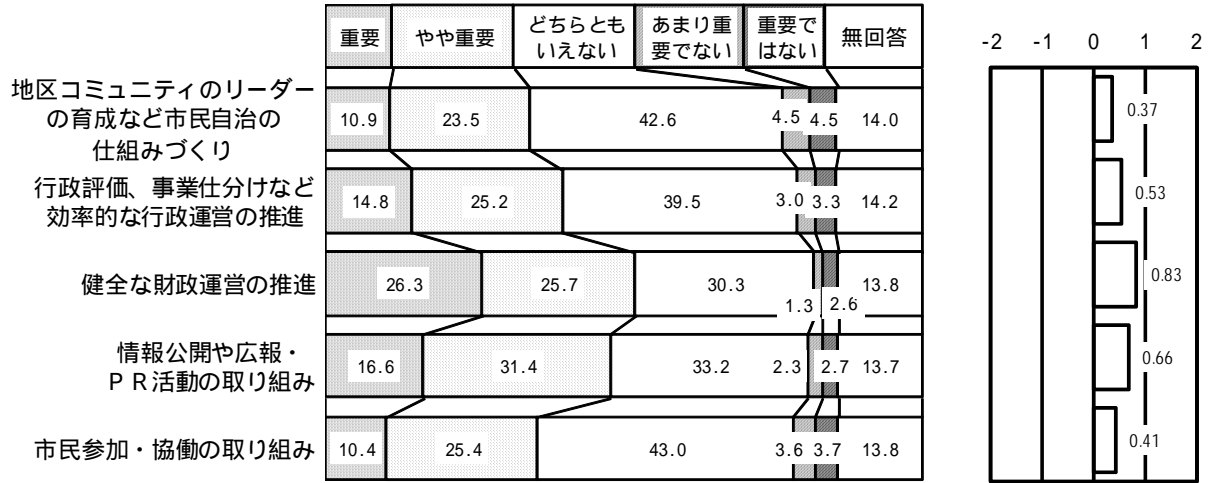
「斎場や墓園の整備」(46.8%)以外の施策はすべて「重要派」が5割を超えている。なかでも「鉄道の運賃問題対策」は「重要派」の比率が高く、「重要」との回答だけで6割を超えている。「路線バスや循環バスの利便性向上の取り組み」についても「重要派」が7割を超えている。

行財政・市民参加・協働

総数=1113

単位：%

<評価点>



すべての施策について「重要派」が3割を超えている。なかでも「健全な財政運営の推進」については「重要派」5割以上と多い。

(3) 施策の今後の方向性

市で取り組んでいる主な施策 60 項目について、満足度・重要度の評価をもとに、次の計算方法により 4 つの分野に整理をする。

「満足度」と「重要度」の得点化の方法

選択肢の「満足(重要)」=2点、「まあ満足(やや重要)」=1点、「やや不満(あまり重要でない)」=-1点、「不満(重要でない)」=-2点として計算し合計点を回答者数で割ってポイント換算する。

この計算から、満足度・重要度の平均点を算出し、施策ごとの相対的な位置づけをより明らかにするために、CSグラフを作成することで、平均点との差を明らかにする。

グラフは、平均点(満足度、重要度)の位置(-0.21、0.77)を原点として描く。

重点改善分野・・・満足度：平均より低い 重要度：平均より高い

これまで以上の取り組みが必要とされている分野である。

改善分野・・・満足度：平均より低い 重要度：平均より低い

実施方法や予算、内容等を見直し、改善することが求められている分野である。

重点維持分野・・・満足度：平均より高い 重要度：平均より高い

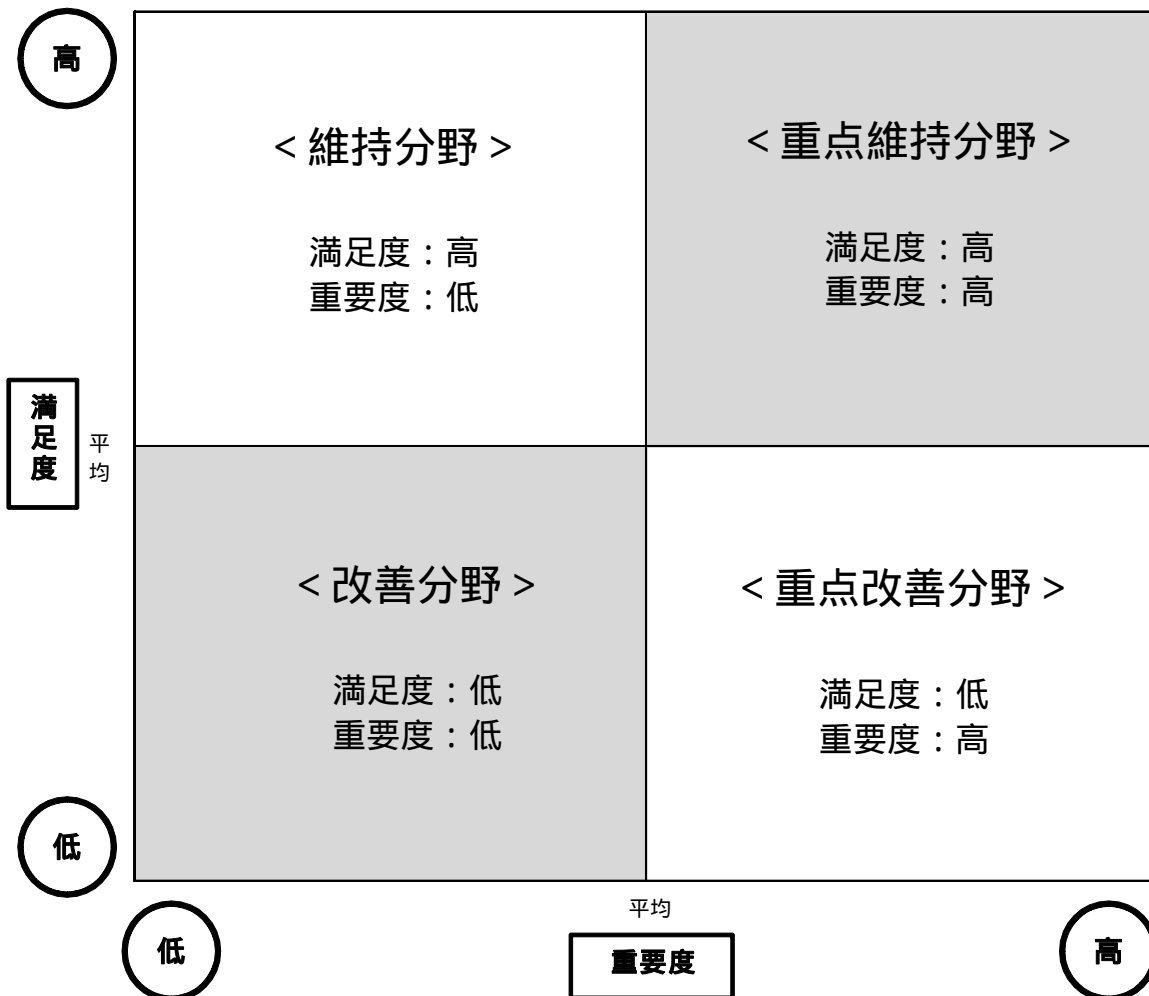
今後もこの水準を保つことが望ましいので、現状維持で取り組むべき分野である。

維持分野・・・満足度：平均より高い 重要度：平均より低い

サービス水準の見直しの検討が必要と考えられる分野である。

< グラフの見方 >

CSグラフとは、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、各施策項目の点数を座標で示したものである。満足度・重要度の平均を軸とし、各施策の方向性を4つの分野で示している。

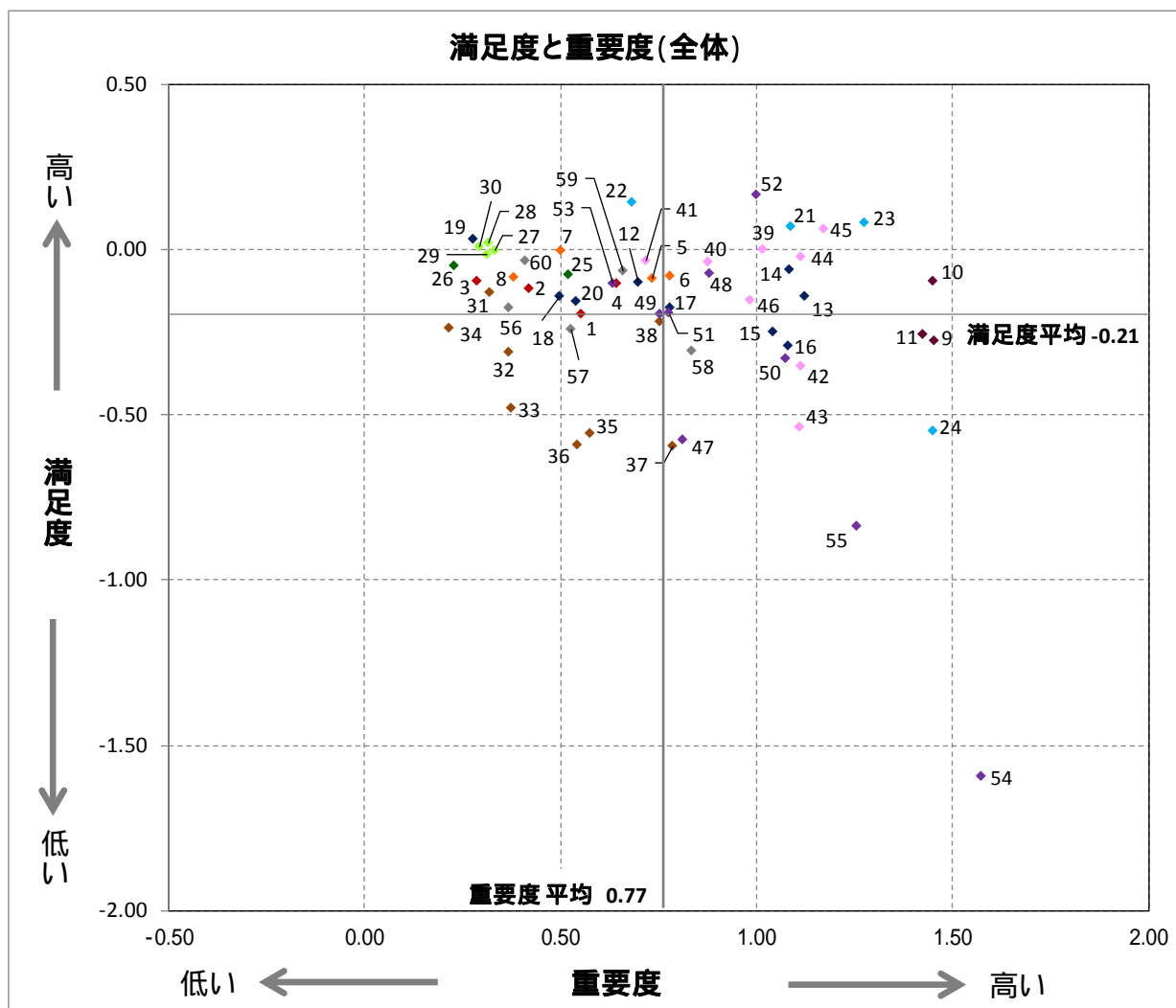


満足度、重要度の平均を軸として、各施策の方向性を4つの分野で示している。

例)

- ・満足度が平均より低い(下)
- ・重要度が平均より高い(右)

『重点改善分野』(右下)



子育て	1	子どもの医療費助成など子育て支援	産業振興	31	農業の生産技術の向上や活性化の支援
	2	保育園の整備など子育ての環境づくり		32	農業の後継者育成の支援
	3	障がい児への療育の支援		33	農地の保全や遊休農地の活用の推進
	4	児童や青少年の健全育成		34	農業体験など農業・農村交流の推進
教育	5	小・中学校での教育・指導内容		35	商店街や工業団地などの活性化の支援
	6	学校施設の整備・安全対策		36	企業誘致の推進
	7	地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり		37	就労希望者への雇用対策
	8	小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進		38	消費者被害の防止など消費者保護の推進
防災・防犯	9	地震・台風などに備えた防災対策	自然環境・生活環境	39	自然環境の保全
	10	火災に対する消防体制や緊急時の救急体制		40	市民の森など自然とふれあう場の提供
福祉	11	交通安全対策や防犯対策		41	環境学習や環境美化活動の推進
	12	障がい者への福祉サービス		42	騒音・振動・悪臭などの公害対策
	13	高齢者への福祉サービス		43	不法投棄防止対策
	14	保健や福祉の総合的な相談窓口機能の充実		44	ゴミの減量とリサイクルの推進
	15	バリアフリーの環境づくり		45	ゴミの収集と処理の推進
	16	独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援		46	地球温暖化防止対策
	17	差別、偏見、虐待などを防止する人権対策	47	計画的な土地利用・開発	
	18	男女共同参画社会()づくり	住環境・生活基盤	48	公園の整備
19	国際交流など国際化の推進	49		地域の特性を生かした景観づくり	
20	平和意識の啓発や平和教育の推進	50		道路の整備	
健康・医療	21	健康づくりの推進		51	橋梁や河川の整備
	22	乳幼児健診など母子の健康対策		52	上・下水道の整備
	23	がん検診など病気の予防対策		53	斎場や墓園の整備
	24	休日・夜間や緊急時の医療体制		54	鉄道の運賃問題対策
活市民	25	地区コミュニティの活性化の支援		参加・協働	55
	26	公益的の市民活動団体などへの支援	56		地区コミュニティのリーダーの育成など市民自治の仕組みづくり
生涯学習	27	各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援	57		行政評価、事業仕分けなど効率的な行政運営の推進
	28	スポーツ活動の支援	58		健全な財政運営の推進
	29	文化・芸術活動の推進	59		情報公開や広報・PR活動の取り組み
	30	歴史・文化財の保存と活用	60		市民参加・協働の取り組み

満足度・重要度上位 10 施策

満足度ランキング

満足度 ラン キング	順位	施策分野	施策番号	項目	満足度
	1	住環境・生活基盤	52	上・下水道の整備	0.17
	2	健康・保健・医療	22	乳幼児健診など母子の健康対策	0.14
	3	健康・保健・医療	23	がん検診など病気の予防対策	0.08
	4	健康・保健・医療	21	健康づくりの推進	0.07
	5	自然環境・生活環境	45	ゴミの収集と処理の推進	0.06
	6	福祉	19	国際交流など国際化の推進	0.03
	7	生涯学習	28	スポーツ活動の支援	0.02
	8	生涯学習	30	歴史・文化財の保存と活用	0.01
	9	自然環境・生活環境	39	自然環境の保全	0.00
10	生涯学習	27	各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援	0.00	

平均は-0.21

満足度が最も高い施策は「上・下水道の整備」である。施策分野別では「健康・保健・医療」と「生涯学習」で3施策が入っている。

重要度ランキング

重要度 ラン キング	順位	施策分野	施策番号	項目	重要度
	1	住環境・生活基盤	54	鉄道の運賃問題対策	1.57
	2	防災・防犯	9	地震・台風などに備えた防災対策	1.45
	3	健康・保健・医療	24	休日・夜間や緊急時の医療体制	1.45
	4	防災・防犯	10	火災に対する消防体制や緊急時の救急体制	1.45
	5	防災・防犯	11	交通安全対策や防犯対策	1.42
	6	健康・保健・医療	23	がん検診など病気の予防対策	1.28
	7	住環境・生活基盤	55	路線バスや循環バスの利便性向上の取り組み	1.26
	8	自然環境・生活環境	45	ゴミの収集と処理の推進	1.17
	9	福祉	13	高齢者への福祉サービス	1.12
10	自然環境・生活環境	42	騒音・振動・悪臭などの公害対策	1.11	

平均は0.77

重要度が最も高い施策は「鉄道の運賃問題対策」である。施策分野別は「防災・防犯」で3施策が入っている。

* 満足度・重要度で少数第2位までの数値が同じものの順位づけは、少数第3位以下の数値の差による。

満足度・重要度の単純集計と全ランキング

分野	施策番号		施策の評価		全施策順位		分野別施策順位	
			満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
子育て	1	子どもの医療費助成など子育て支援	-0.19	0.55	39	39	4	2
	2	保育園の整備など子育ての環境づくり	-0.12	0.42	30	46	3	3
	3	障がい児への療育の支援	-0.09	0.29	26	57	1	4
	4	児童や青少年の健全育成	-0.11	0.64	29	36	2	1
教育	5	小・中学校での教育・指導内容	-0.09	0.73	24	31	4	2
	6	学校施設の整備・安全対策	-0.08	0.78	22	27	2	1
	7	地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり	0.00	0.50	11	44	1	3
	8	小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進	-0.08	0.38	23	48	3	4
防災・防犯	9	地震・台風などに備えた防災対策	-0.28	1.45	46	2	3	1
	10	火災に対する消防体制や緊急時の救急体制	-0.09	1.45	25	4	1	2
	11	交通安全対策や防犯対策	-0.26	1.42	45	5	2	3
福祉	12	障がい者への福祉サービス	-0.10	0.70	27	33	3	6
	13	高齢者への福祉サービス	-0.14	1.12	33	9	5	1
	14	保健や福祉の総合的な相談窓口機能の充実	-0.06	1.08	18	14	2	2
	15	バリアフリーの環境づくり	-0.25	1.04	44	17	8	4
	16	独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援	-0.29	1.08	47	15	9	3
	17	差別、偏見、虐待などを防止する人権対策	-0.18	0.78	37	26	7	5
	18	男女共同参画社会づくり	-0.14	0.50	32	45	4	8
	19	国際交流など国際化の推進	0.03	0.28	6	58	1	9
	20	平和意識の啓発や平和教育の推進	-0.16	0.54	35	41	6	7
健康・医療・療保	21	健康づくりの推進	0.07	1.09	4	13	3	3
	22	乳幼児健診など母子の健康対策	0.14	0.68	2	34	1	4
	23	がん検診など病気の予防対策	0.08	1.28	3	6	2	2
	24	休日・夜間や緊急時の医療体制	-0.55	1.45	54	3	4	1
活市動民	25	地区コミュニティの活性化の支援	-0.08	0.52	21	43	2	1
	26	公益的市民活動団体などへの支援	-0.05	0.23	17	59	1	2
学生生涯	27	各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援	0.00	0.33	10	52	3	1
	28	スポーツ活動の支援	0.02	0.32	7	54	1	2
	29	文化・芸術活動の推進	-0.01	0.31	12	55	4	3
	30	歴史・文化財の保存と活用	0.01	0.29	8	56	2	4
産業振興	31	農業の生産技術の向上や活性化の支援	-0.13	0.32	31	53	1	7
	32	農業の後継者育成の支援	-0.31	0.37	49	51	4	6
	33	農地の保全や遊休農地の活用の推進	-0.48	0.38	52	49	5	5
	34	農業体験など農業・農村交流の推進	-0.24	0.22	42	60	3	8
	35	商店街や工業団地などの活性化の支援	-0.56	0.57	55	38	6	3
	36	企業誘致の推進	-0.59	0.54	57	40	7	4
	37	就労希望者への雇用対策	-0.59	0.78	58	25	8	1
	38	消費者被害の防止など消費者保護の推進	-0.22	0.76	41	29	2	2
自然環境・生活環境	39	自然環境の保全	0.00	1.02	9	18	2	5
	40	市民の森など自然とふれあう場の提供	-0.04	0.88	16	22	5	7
	41	環境学習や環境美化活動の推進	-0.04	0.72	14	32	4	8
	42	騒音・振動・悪臭などの公害対策	-0.35	1.11	51	10	7	2
	43	不法投棄防止対策	-0.54	1.11	53	12	8	4
	44	ゴミの減量とリサイクルの推進	-0.02	1.11	13	11	3	3
	45	ゴミの収集と処理の推進	0.06	1.17	5	8	1	1
	46	地球温暖化防止対策	-0.15	0.99	34	20	6	6
住環境・生活基盤	47	計画的な土地利用・開発	-0.57	0.81	56	24	7	6
	48	公園の整備	-0.07	0.88	20	21	2	5
	49	地域の特性を生かした景観づくり	-0.20	0.75	40	30	5	8
	50	道路の整備	-0.33	1.08	50	16	6	3
	51	橋梁や河川の整備	-0.19	0.78	38	28	4	7
	52	上・下水道の整備	0.17	1.00	1	19	1	4
	53	斎場や墓園の整備	-0.10	0.64	28	37	3	9
	54	鉄道の運賃問題対策	-1.60	1.57	60	1	9	1
	55	路線バスや循環バスの利便性向上の取り組み	-0.84	1.26	59	7	8	2
民行参財 働加政・協市	56	地区コミュニティのリーダーの育成など市民自治の仕組みづくり	-0.17	0.37	36	50	3	5
	57	行政評価、事業仕分けなど効率的な行政運営の推進	-0.24	0.53	43	42	4	3
	58	健全な財政運営の推進	-0.31	0.83	48	23	5	1
	59	情報公開や広報・PR活動の取り組み	-0.06	0.66	19	35	2	2
	60	市民参加・協働の取り組み	-0.04	0.41	15	47	1	4

個別施策ごとの前回調査との比較

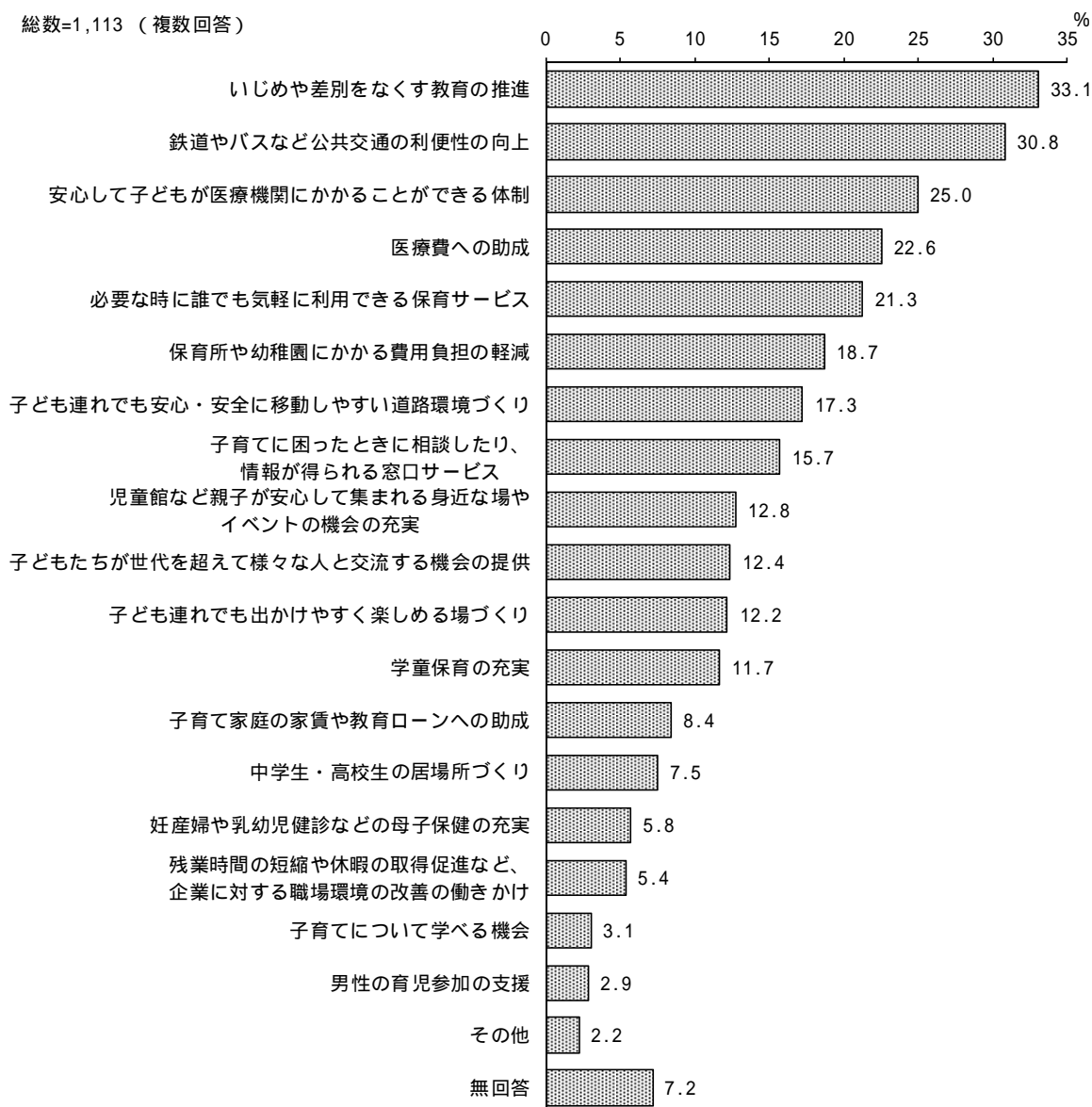
分野	質問	満足度			重要度		
		H21	H26	変化	H21	H26	変化
子育て	1 子どもの医療費助成など子育て支援	-	-0.19	-	-	0.55	-
	2 保育園の整備など子育ての環境づくり	-0.40	-0.12	-	0.88	0.42	-
	3 障がい児への療育の支援	-	-0.09	-	-	0.29	-
	4 児童や青少年の健全育成	-0.19	-0.11	-	0.88	0.64	-
教育	5 小・中学校での教育・指導内容	-0.18	-0.09	-	0.96	0.73	-
	6 学校施設の整備・安全対策	-	-0.08	-	-	0.78	-
	7 地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり	-	0.00	-	-	0.50	-
	8 小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進	-	-0.08	-	-	0.38	-
防災・防犯	9 地震・台風などに備えた防災対策	-0.21	-0.28	-	1.36	1.45	-
	10 火災に対する消防体制や緊急時の救急体制 1	-0.01	-0.09	-	1.41	1.45	-
	11 交通安全対策や防犯対策	-0.24	-0.26	-	1.28	1.42	-
福祉	12 障がい者への福祉サービス	-0.24	-0.10	-	1.01	0.70	-
	13 高齢者への福祉サービス	-0.23	-0.14	-	1.26	1.12	-
	14 保健や福祉の総合的な相談窓口機能の充実	-	-0.06	-	-	1.08	-
	15 バリアフリーの環境づくり	-0.52	-0.25	-	1.27	1.04	-
	16 独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援	-	-0.29	-	-	1.08	-
	17 差別、偏見、虐待などを防止する人権対策	-0.15	-0.18	-	0.64	0.78	-
	18 男女共同参画社会()づくり	-0.09	-0.14	-	0.38	0.50	-
	19 国際交流など国際化の推進	0.00	0.03	-	0.16	0.28	-
	20 平和意識の啓発や平和教育の推進	-	-0.16	-	-	0.54	-
	21 健康づくりの推進	0.03	0.07	-	1.37	1.09	-
健康・保健・医療	22 乳幼児健診など母子の健康対策	-	0.14	-	-	0.68	-
	23 がん検診など病気の予防対策	0.00	0.08	-	1.43	1.28	-
	24 休日・夜間や緊急時の医療体制	-0.56	-0.55	-	1.54	1.45	-
市民活動	25 地区コミュニティの活性化の支援	-	-0.08	-	-	0.52	-
	26 公益的市民活動団体などへの支援	-	-0.05	-	-	0.23	-
生涯学習	27 各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援	0.02	0.00	-	0.42	0.33	-
	28 スポーツ活動の支援	0.00	0.02	-	0.32	0.32	-
	29 文化・芸術活動の推進	-0.08	-0.01	-	0.27	0.31	-
	30 歴史・文化財の保存と活用	-	0.01	-	-	0.29	-
産業振興	31 農業の生産技術の向上や活性化の支援	-	-0.13	-	-	0.32	-
	32 農業の後継者育成の支援	-	-0.31	-	-	0.37	-
	33 農地の保全や遊休農地の活用の推進	-0.65	-0.48	-	0.48	0.38	-
	34 農業体験など農業・農村交流の推進	-	-0.24	-	-	0.22	-
	35 商店街や工業団地などの活性化の支援	-	-0.56	-	-	0.57	-
	36 企業誘致の推進	-0.41	-0.59	-	0.46	0.54	-
	37 就労希望者への雇用対策	-0.72	-0.59	-	0.84	0.78	-
	38 消費者被害の防止など消費者保護の推進	-	-0.22	-	-	0.76	-
自然環境・生活環境	39 自然環境の保全	-0.04	0.00	-	1.18	1.02	-
	40 市民の森など自然とふれあう場の提供	-	-0.04	-	-	0.88	-
	41 環境学習や環境美化活動の推進	-	-0.04	-	-	0.72	-
	42 騒音・振動・悪臭などの公害対策	-0.34	-0.35	-	1.24	1.11	-
	43 不法投棄防止対策	-0.61	-0.54	-	1.29	1.11	-
	44 ゴみの減量とリサイクルの推進	0.03	-0.02	-	1.23	1.11	-
	45 ゴみの収集と処理の推進	0.18	0.06	-	1.32	1.17	-
	46 地球温暖化防止対策	-	-0.15	-	-	0.99	-
住環境・生活基盤	47 計画的な土地利用・開発	-0.74	-0.57	-	0.92	0.81	-
	48 公園の整備	0.03	-0.07	-	0.89	0.88	-
	49 地域の特性を生かした景観づくり	-	-0.20	-	-	0.75	-
	50 道路の整備 2	-0.39	-0.33	-	1.02	1.08	-
	51 橋梁や河川の整備	-0.27	-0.19	-	0.68	0.78	-
	52 上・下水道の整備 3	0.23	0.17	-	1.13	1.00	-
	53 斎場や墓園の整備	-	-0.10	-	-	0.64	-
	54 鉄道の運賃問題対策	-1.62	-1.60	-	1.62	1.57	-
	55 路線バスや循環バスの利便性向上の取り組み	-0.99	-0.84	-	1.15	1.26	-
行財政・市民参加・協働	56 地区コミュニティのリーダーの育成など市民自治の仕組みづくり	-	-0.17	-	-	0.37	-
	57 行政評価、事業仕分けなど効率的な行政運営の推進	-	-0.24	-	-	0.53	-
	58 健全な財政運営の推進	-0.50	-0.31	-	1.02	0.83	-
	59 情報公開や広報・PR活動の取り組み 4	-0.19	-0.06	-	0.73	0.66	-
	60 市民参加・協働の取り組み	-0.03	-0.04	-	0.55	0.41	-

注)H21年度調査が「-」の項目は、H26年調査で新たに加えられた項目

- 1: H21年度の値は「火災に対する消防体制については」と「緊急時の救急体制については」の平均
- 2: H21年度の値は「国道や県道を含む幹線道路の整備については」と「身近な生活道路の整備については」の平均
- 3: H21年度の値は「上水道の整備については」と「下水道の整備については」の平均
- 4: H21年度の値は「情報公開制度の推進については」と「市の情報を発信する広報や市民の声を聞く広聴活動については」の平均

5 子育て支援について

【問7】あなたは、市の子育て支援対策として、どのような取り組みを充実させていくべきとお考えですか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

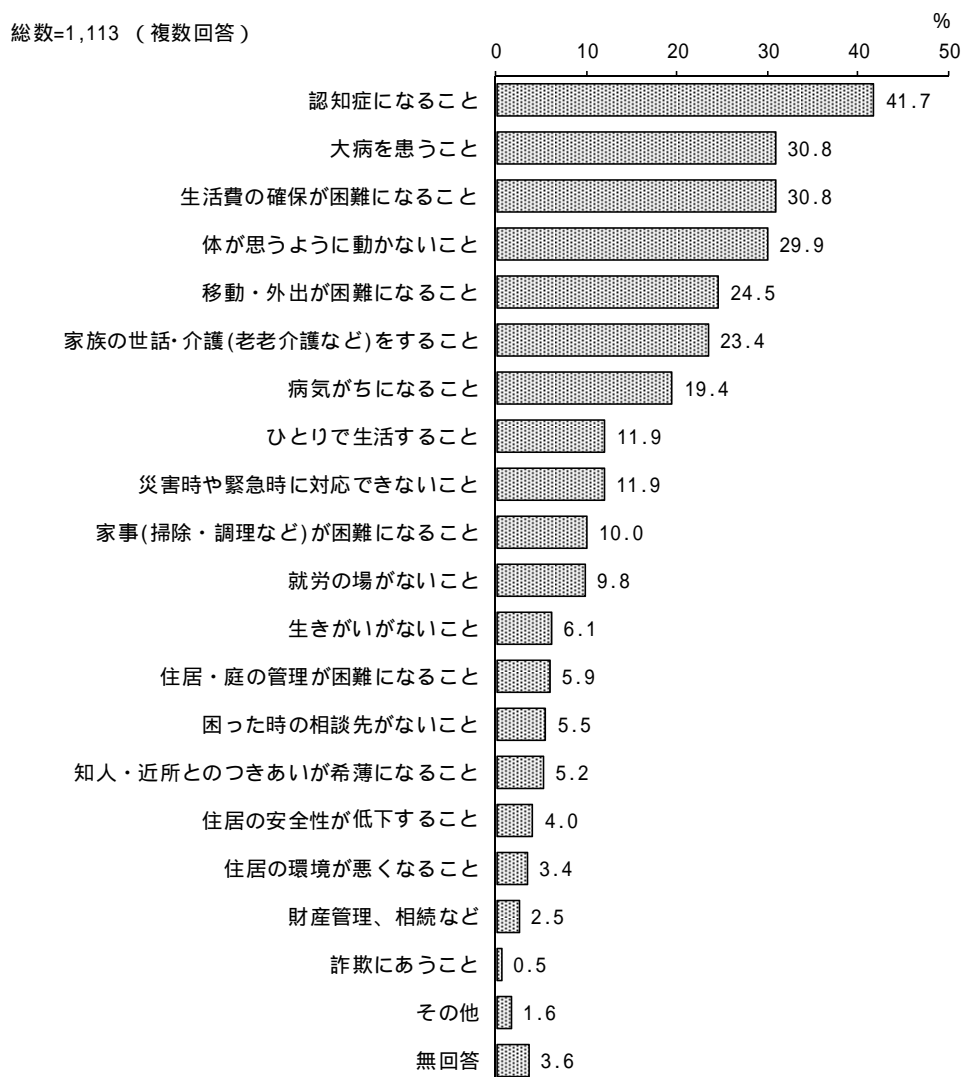


市の子育て支援対策は、「いじめや差別をなくす教育の推進」(33.1%)、「鉄道やバスなど公共交通の利便性の向上」(30.8%)が3割を超えて多くなっている。続いて「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制」(25.0%)、「医療費の助成」(22.6%)、「必要な時に誰でも気軽に利用できる保育サービス」(21.3%)の順となっている。

6 高齢期の生活について

(1) 高齢期の生活の不安について

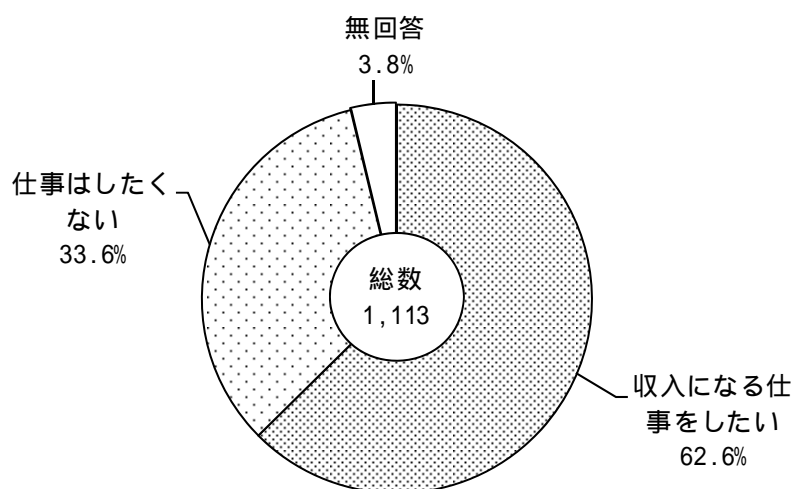
【問8】あなたの高齢期（高齢期になった時）の生活に不安があるとしたら何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。



高齢期の生活の不安については、「認知症になること」(41.7%)が4割を超えて多くなっている。続いて「大病を患うこと」(30.8%)、「生活費の確保が困難になること」(30.8%)の順となっている。

(2) 高齢期の就労について

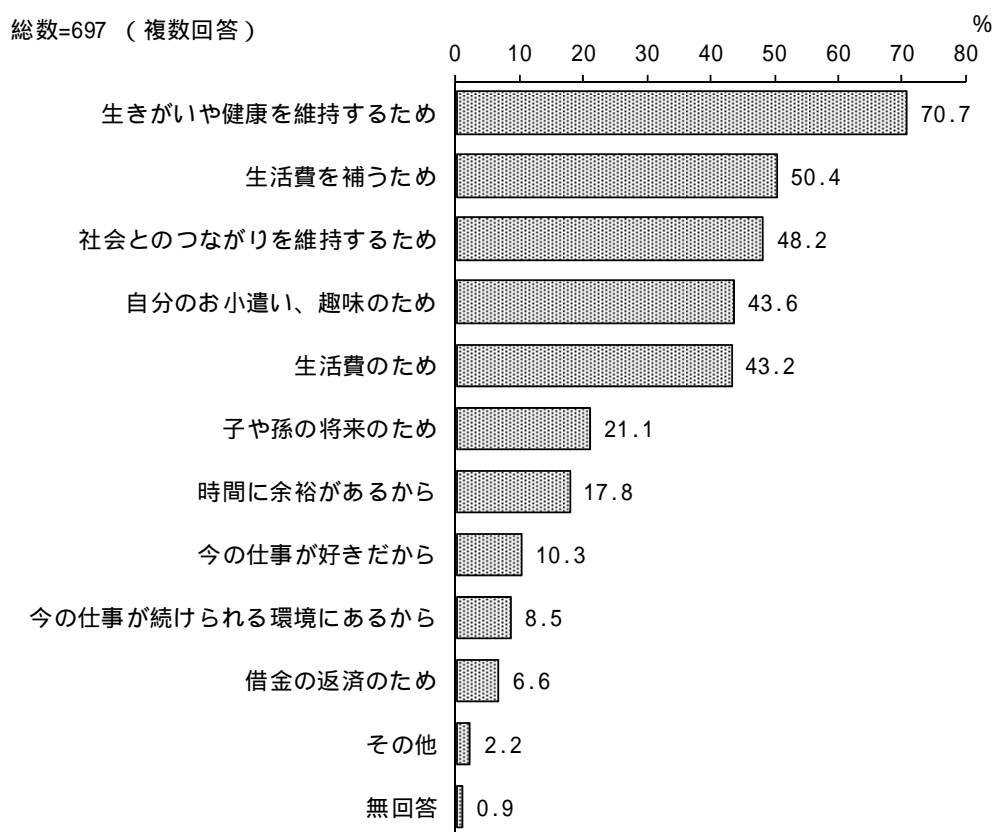
【問9】あなたは、高齢期（高齢期になった時）においても何か収入になる仕事をしたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



高齢期の就労については、「収入になる仕事をしたい」(62.6%)との回答が6割強である。一方、「仕事はしたくない」(33.6%)との回答が3割強となっている。

収入になる仕事をしたい理由

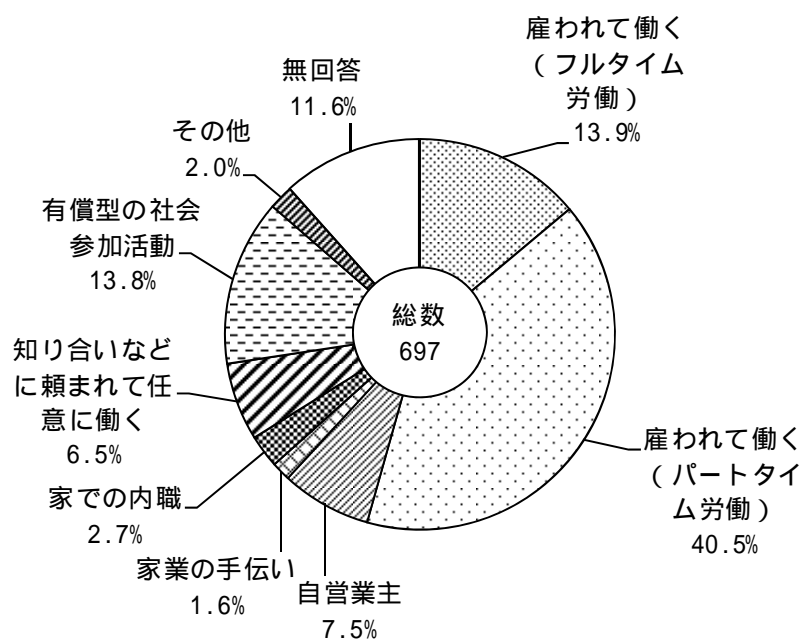
【問9 - 1】あなたが、収入になる仕事をしたい理由はなんですか。次の中から該当するものすべてを選んで番号に をつけてください。



収入になる仕事をしたい理由としては、「生きがいや健康を維持するため」(70.7%)が7割を超えて最も多くなっている。続いて「生活費を補うため」(50.4%)、「社会とのつながりを維持するため」(48.2%)の順となっている。

収入になる仕事の形態

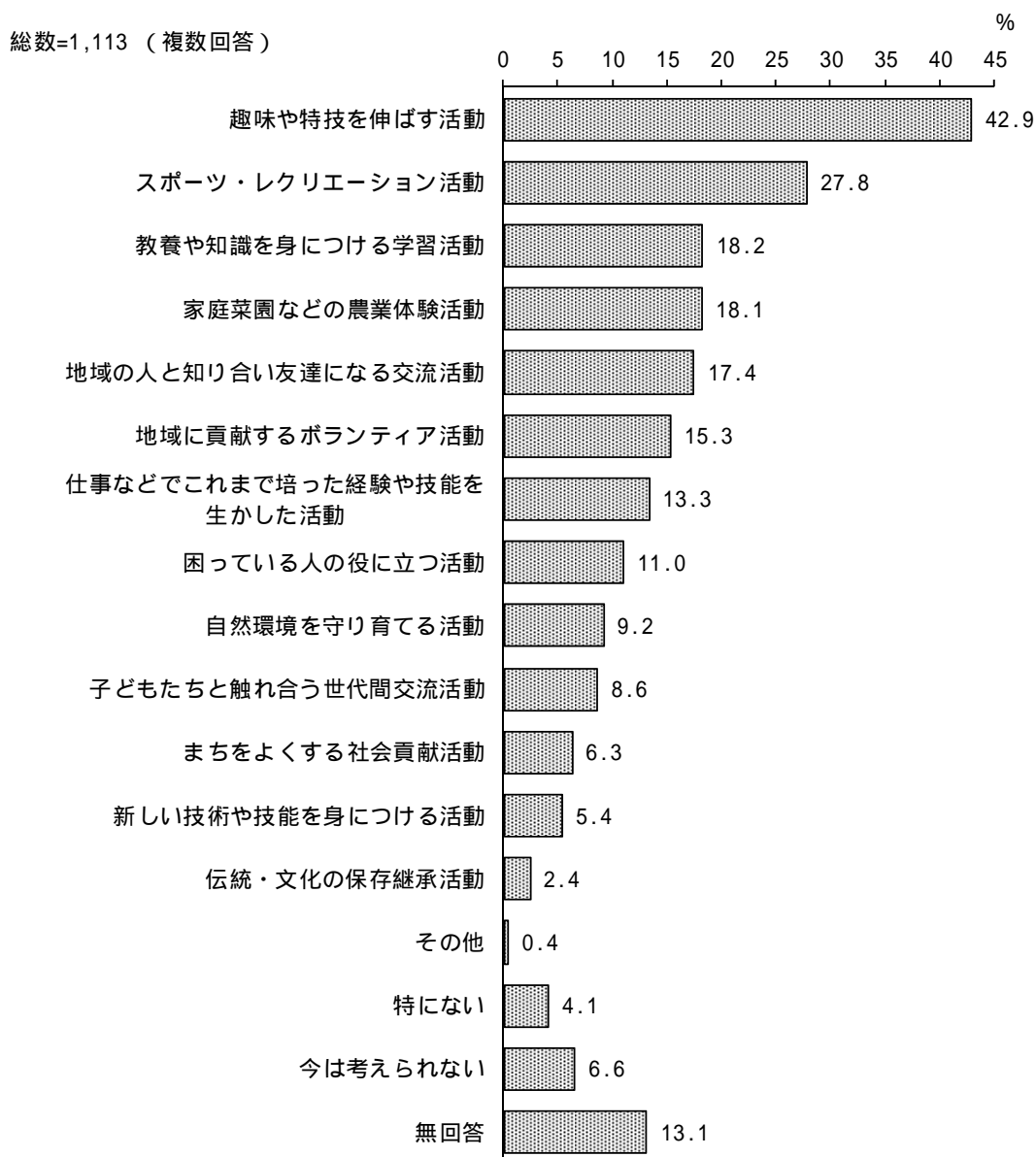
【問9 - 2】あなたは、どのようなかたちで収入になる仕事をしたいですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



収入になる仕事の形態については、「雇われて働く (パートタイム労働)」(40.5%) が 4 割を超えて最も多くなっている。続いて「雇われて働く (フルタイム労働)」(13.9%)、「有償型の社会参加活動」(13.8%) の順となっている。

(3) 高齢期の活動について

【問10】あなたは、高齢期（高齢期になった時）に、仕事以外でどのような活動をしたいと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

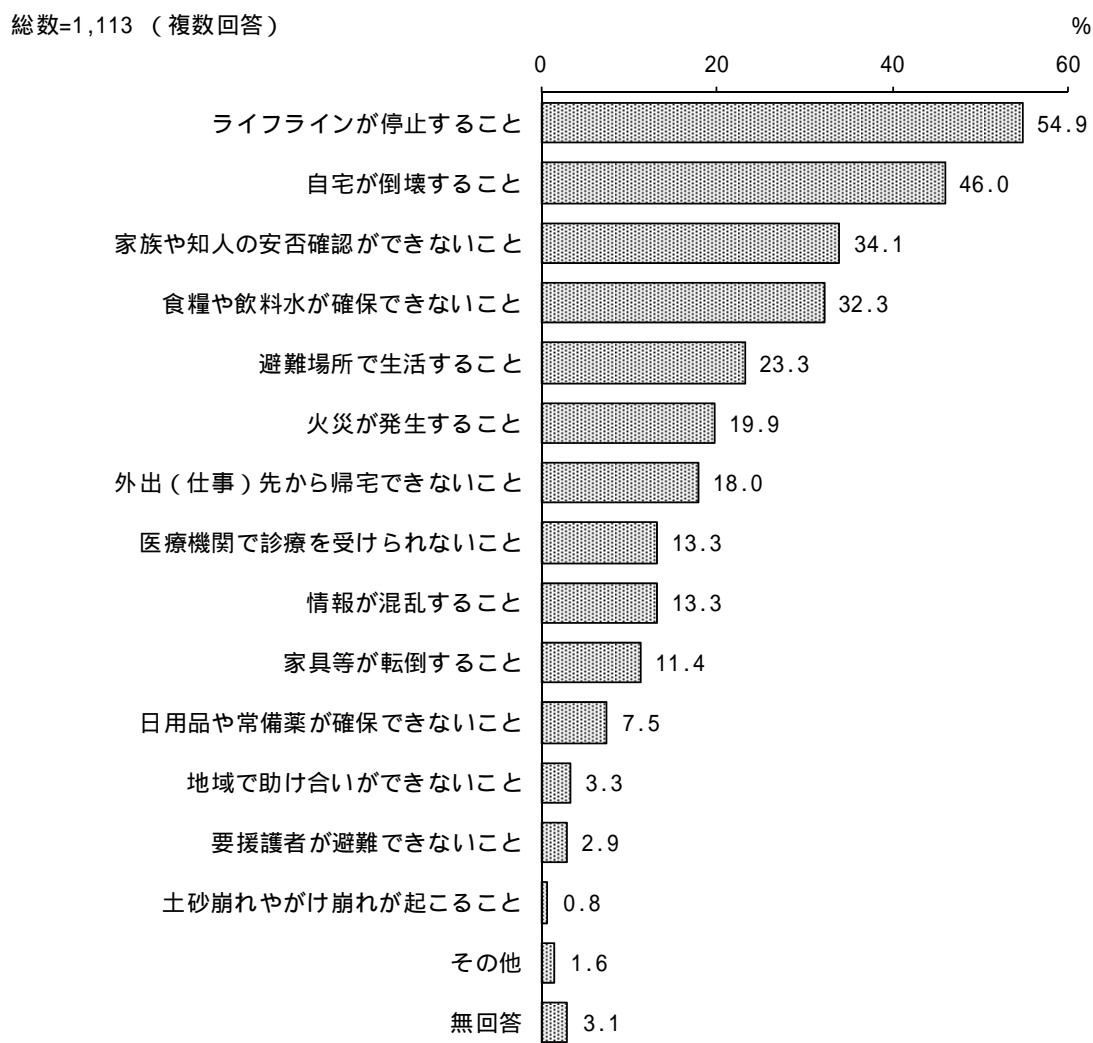


高齢期の活動については、「趣味や特技を伸ばす活動」(42.9%)が4割強と最も多くなっている。続いて「スポーツ・レクリエーション活動」(27.8%)が多くなっている。

7 防災について

(1) 大地震が発生した場合に心配なこと

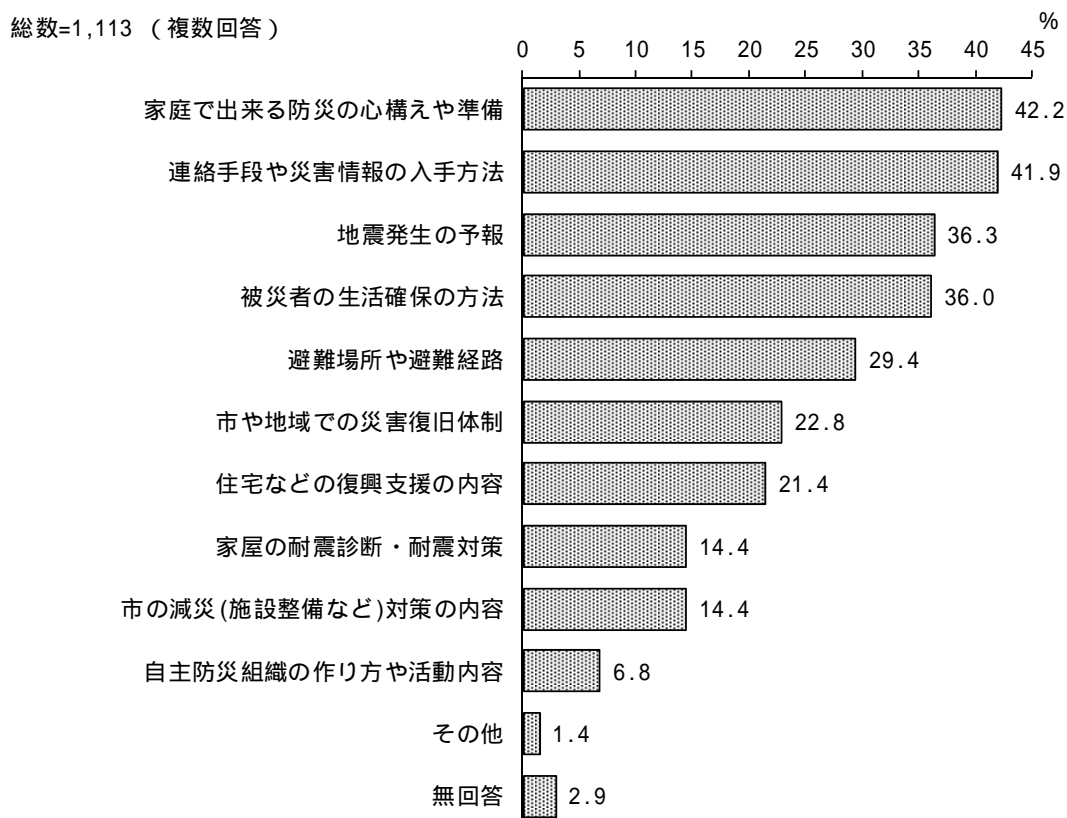
【問11】今後大きな地震が発生した場合、あなたが心配に思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。



大震災が発生した場合に心配なことは「ライフラインが停止すること」(54.9%)が5割強と最も多くなっている。続いて「自宅が倒壊すること」(46.0%)、「家族や知人の安否確認ができないこと」(34.1%)、「食糧や飲料水が確保できないこと」(32.3%)の順となっている。

(2) 災害全般に関して日頃から得たい知識や情報

【問 1 2】あなたは、災害全般に関して日頃からどのような知識や情報を得たいと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

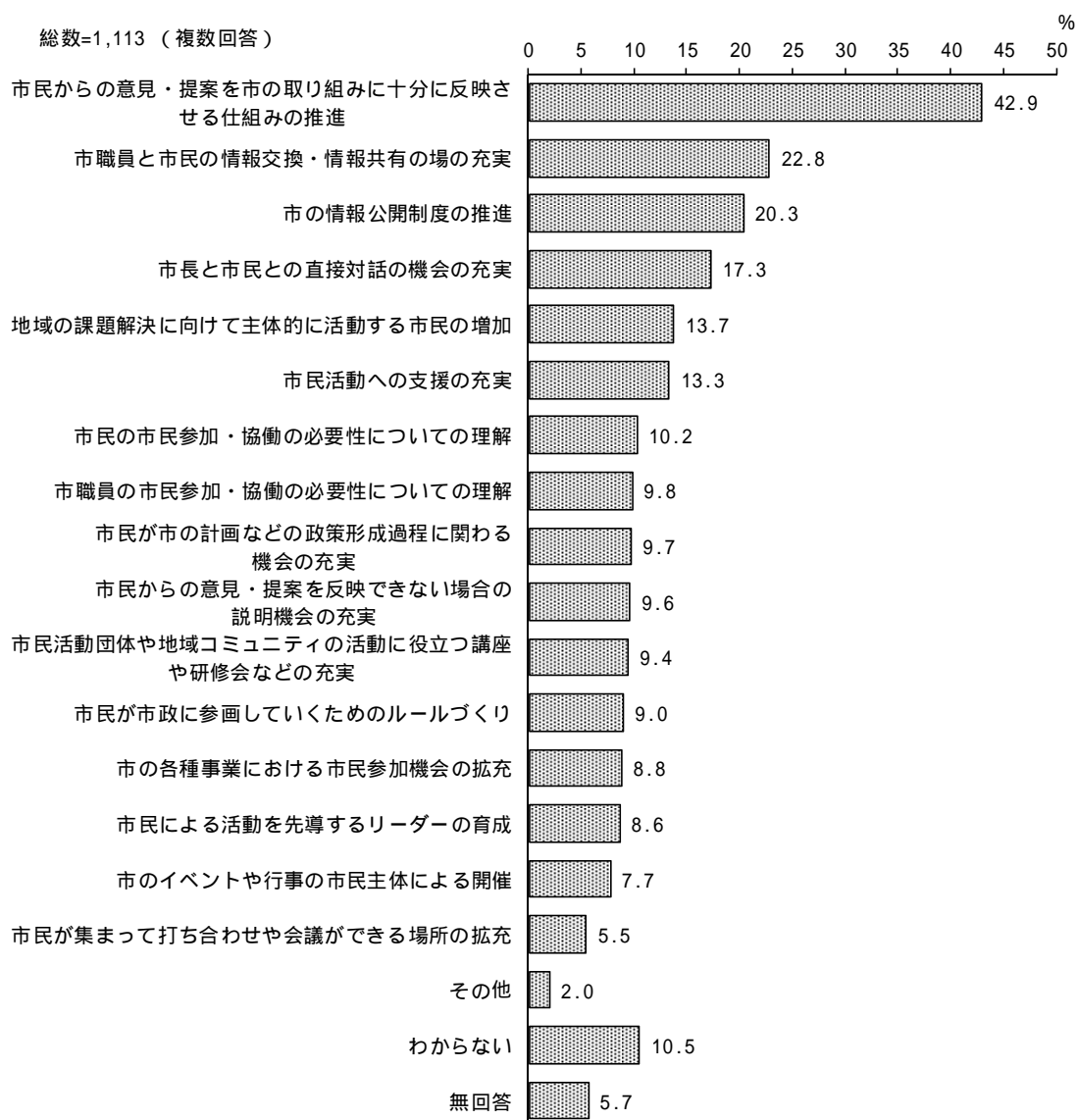


災害全般に関して日頃から得たい知識や情報は「家庭で出来る防災の心構えや準備」(42.2%)、「連絡手段や災害情報の入手方法」(41.9%)が4割強と最も多くなっている。続いて「地震発生の予報」(36.3%)、「被災者の生活保護の方法」(36.0%)の順となっている。

8 市民参加・協働によるまちづくりについて

(1) 市民参加・協働のまちづくりに必要な取り組みについて

【問13】あなたは、市で市民参加・協働によるまちづくり()をより一層進めるために、特に何が重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。



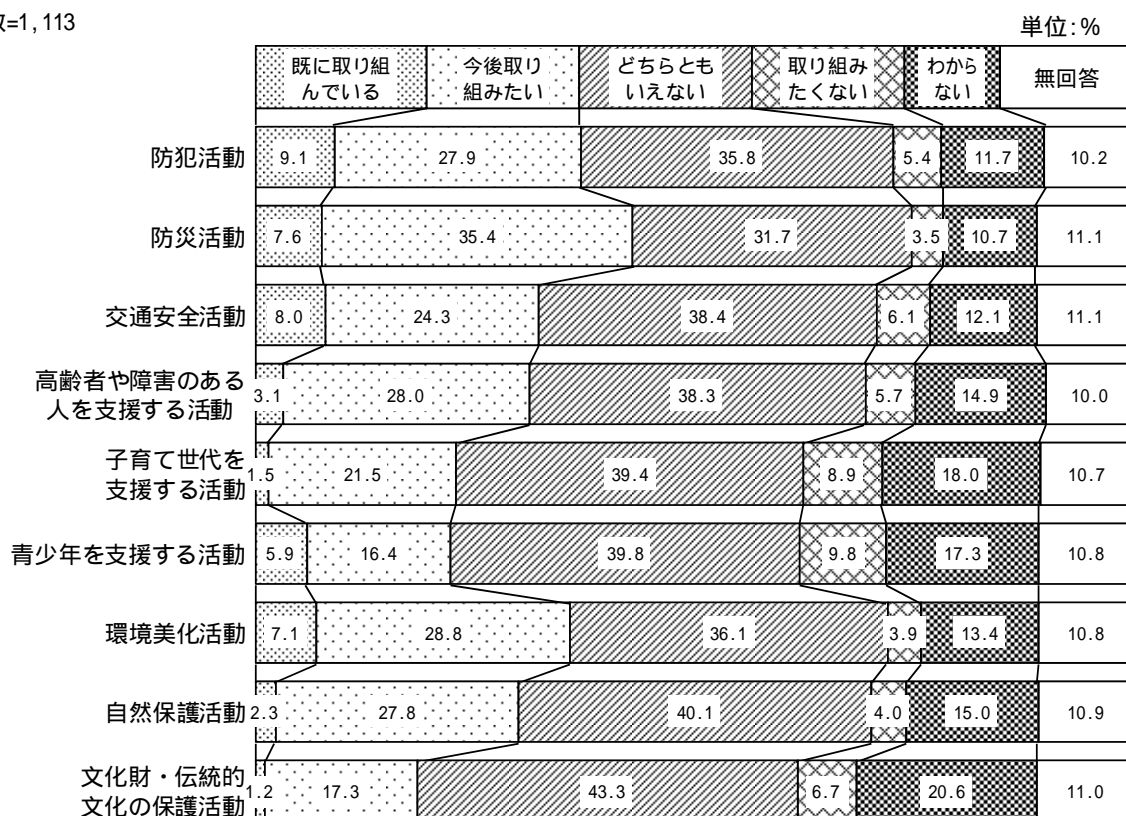
市民参加・市民協働のまちづくりに必要な取り組みは「市民からの意見・提案を市の取り組みに十分に反映させる仕組みの推進」(42.9%)が4割強と最も多くなっている。続いて「市職員と市民の情報交換・情報共有の場の充実」(22.8%)、「市の情報公開制度の推進」(20.3%)の順となっている。

(2) 市民参加・協働のまちづくりの参加状況と取り組み主体について

【問14】あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、あるいは取り組みたいと思いますか。また、その活動は市民と市役所のどちらが中心となって取り組むべきだと思いますか。9つの活動のすべてについて、それぞれ1つずつ選んで番号にをつけてください。

市民参加・協働のまちづくりの参加状況

総数=1,113

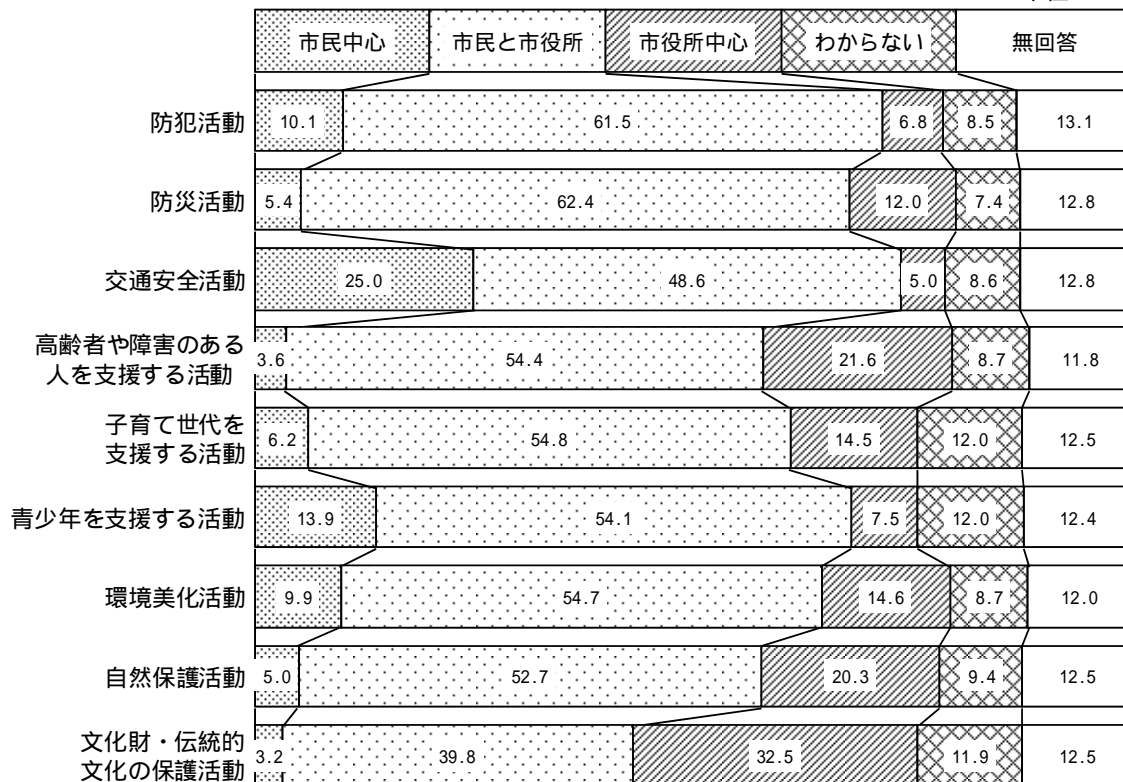


既に取り組んでいる活動として比率が高いものは「防犯活動」(9.0%)、「交通安全活動」(8.0%)である。今後取り組みたい活動として比率が高いものは「防災活動」(35.4%)、「環境美化活動」(28.8%)である。また、取り組みたくない活動として比率が高いものは「青少年を支援する活動」(9.8%)、「子育て世代を支援する活動」(8.9%)である。

市民参加・協働のまちづくりの取り組み主体

総数=1,113

単位:%

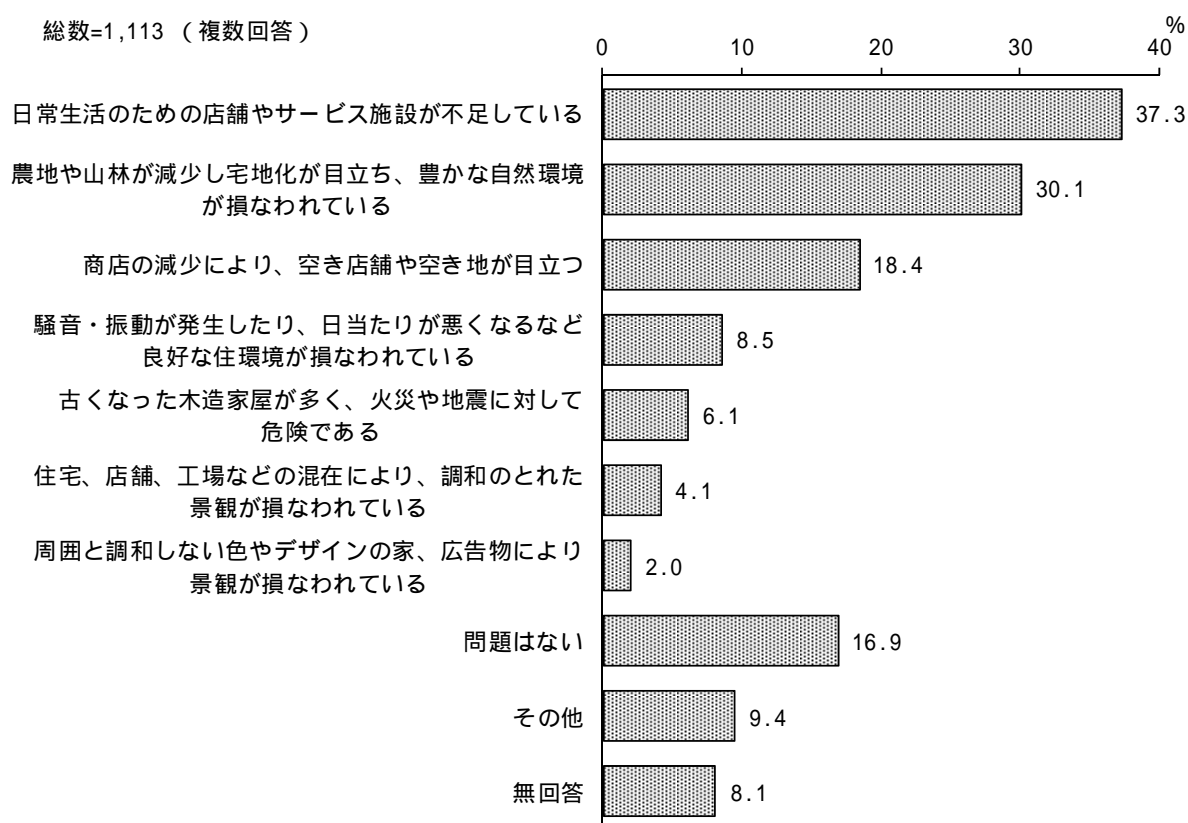


市民中心の活動として比率が高いものは「交通安全活動」(25.0%)、「青少年を支援する活動」(13.9%)である。一方、市役所中心の活動として比率が高いものは「文化財・伝統的文化的保護活動」(32.5%)、「高齢者や障害のある人を支援する活動」(21.6%)である。また、市民と市役所が一緒に取り組むべき活動として比率が高いものは「防災活動」(62.4%)、「防犯活動」(61.5%)である。

9 市の土地利用について

(1) 生活環境や土地利用についての問題点

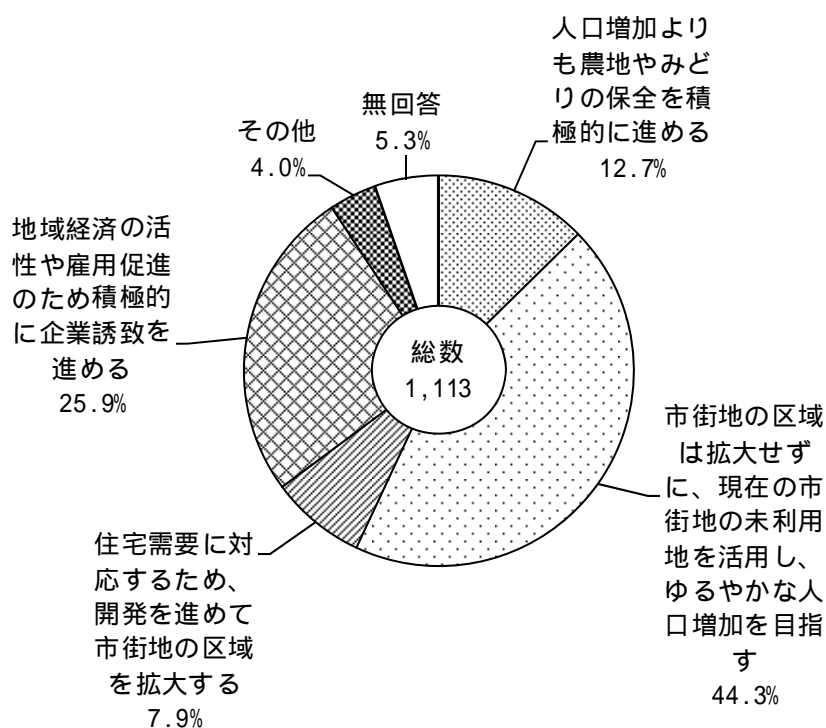
【問15】あなたは、お住まいの地区（問32で示す地区）の生活環境や土地利用について、どのようなことが問題だと思えますか。次の中から2つまで選んで番号にをつけてください。



生活環境や土地利用についての問題点としては「日常生活のための店舗やサービス施設が不足している」(37.3%)が4割弱で最も多くなっている。続いて「農地や山林が減少し宅地化が目立ち、豊かな自然環境が損なわれている」(30.1%)、「商店の減少により、空き店舗や空き地が目立つ」(18.4%)の順となっている。一方、「問題はない」(16.9%)との回答も多くなっている。

(2) 都市基盤に必要なことについて

【問16】あなたは、市のこれからの都市整備に必要なことは何だと思えますか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。

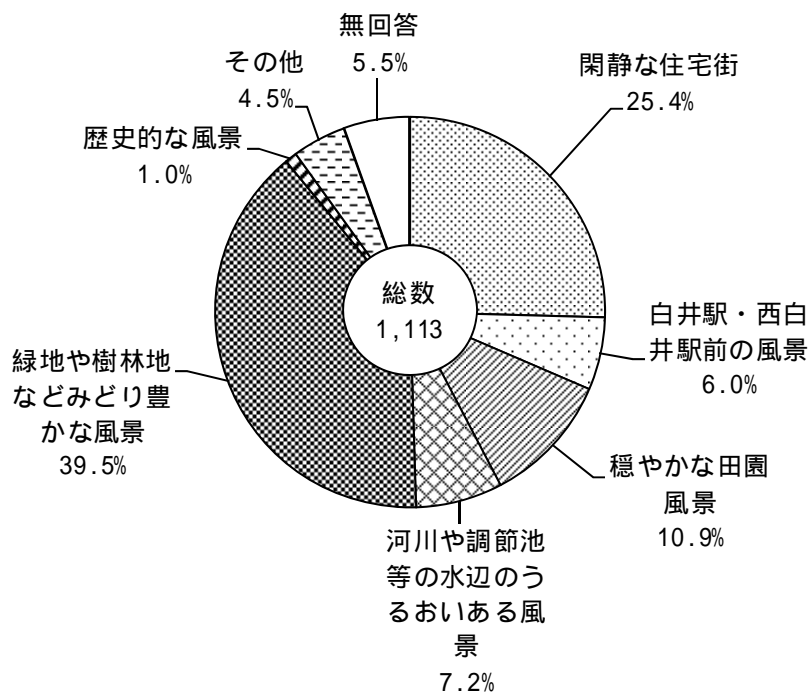


都市基盤に必要なことは「市街地の区域は拡大せず、現在の市街地の未利用地を活用し、ゆるやかな人口増加を目指す」(44.3%)が4割強で最も多くなっている。続いて「地域経済の活性化や雇用促進のため積極的に企業誘致を進める」(25.9%)、「人口増加よりも農地やみどりの保全を積極的に進める」(12.7%)の順となっている。

10 市のまちづくりや地区のまちづくりについて

(1) 優れた景観について

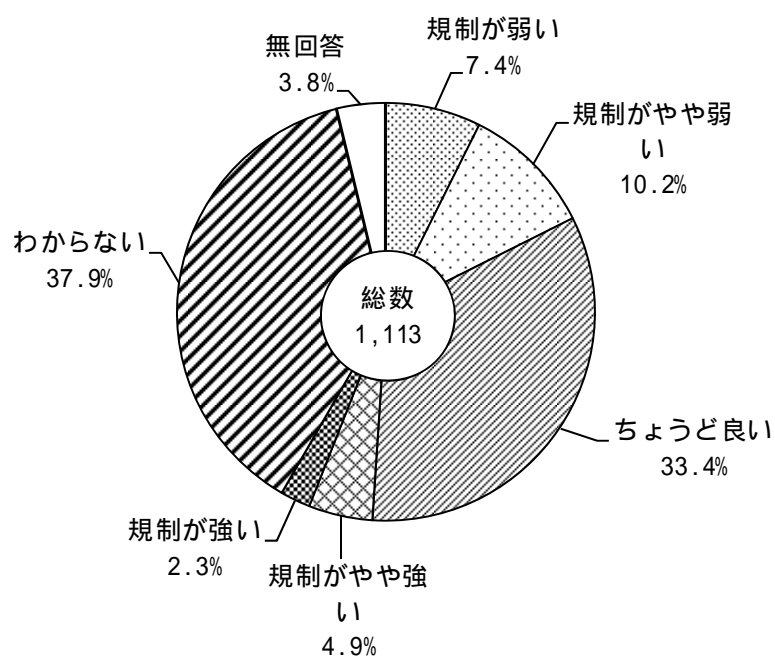
【問17】あなたは、白井市の優れた景観とはどのようなものだと思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



市の優れた景観としては「緑地や樹林地などみどり豊かな風景」(39.5%)が4割弱で最も多くなっている。続いて「閑静な住宅街」(25.4%)、「穏やかな田園風景」(10.9%)の順となっている。

(2) 都市計画の規制について

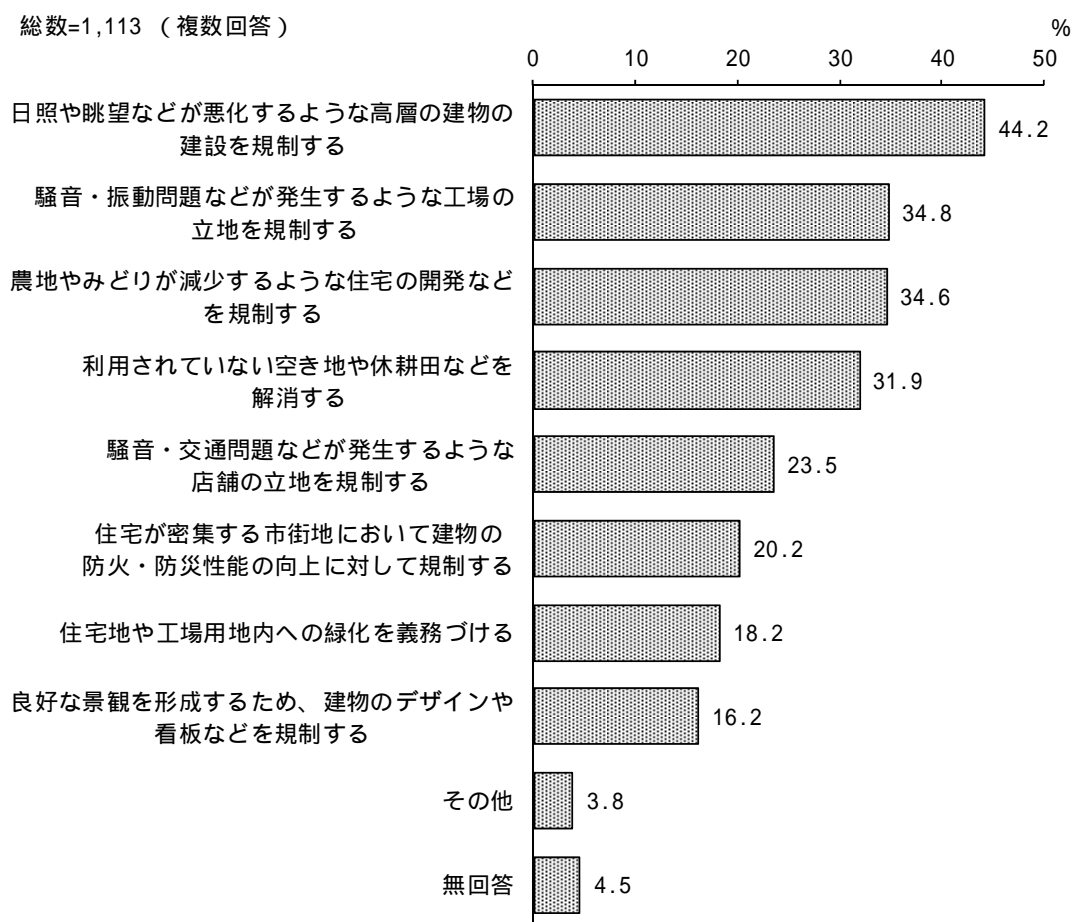
【問18】都市計画では、建物を建てることのできる地域や、建てることのできる建物の用途や高さを規制しています。あなたは、この都市計画の規制についてどのように感じていますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



都市計画の規制について感じることは「ちょうど良い」(33.4%)が3割強と多い一方で、「わからない」(37.9%)との回答が最も多くなっている。

(3) 地区の環境をより良くするために必要な規制について

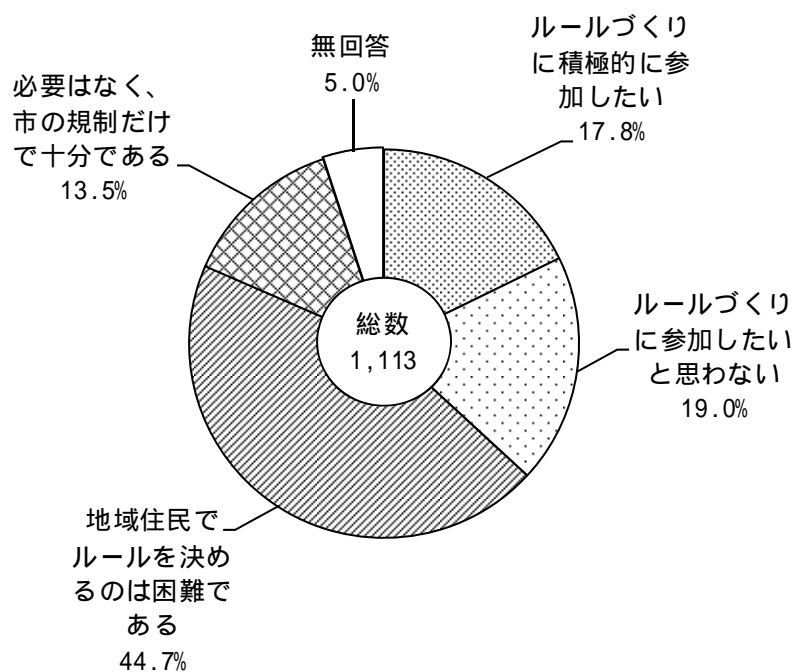
【問19】あなたは、お住まいの地区（問32で示す地区）の環境をより良くするためにどのような規制が必要だと思えますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。



地区の環境をより良くするために必要な規制としては「日照や眺望などが悪化するような高層の建物の建設を規制する」(44.2%)が4割強と最も多くなっている。続いて「騒音・振動問題などが発生するような工場の立地を規制する」(34.8%)、「農地やみどりが減少するような住宅の開発などを規制する」(34.6%)の順となっている。

(4) 地域のルールについて

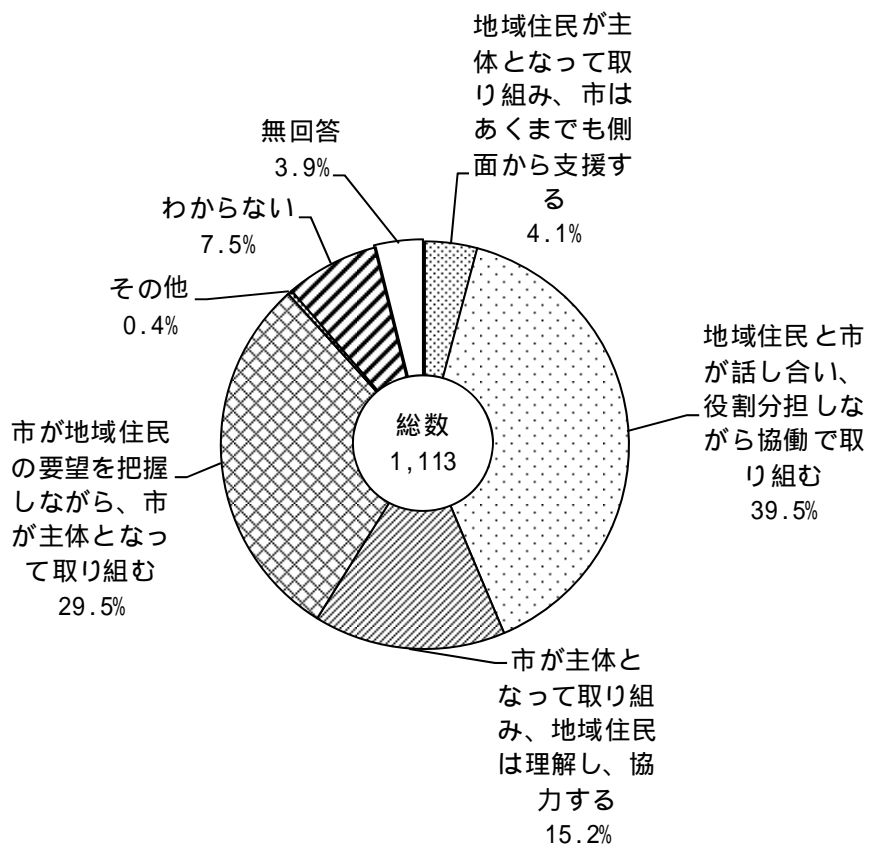
【問20】あなたは、地域の特徴を生かした、暮らしやすいまちづくりを行うために、地域のみなさんで話しあい、地域のルール()を決めていくことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



地域のルールを決めていくことについては「地域住民でルールを決めるのは困難である」(44.7%)が4割強と最も多くなっている。続いて「ルールづくりに参加したいと思わない」(19.0%)、「ルールづくりに積極的に参加したい」(17.8%)の順となっている。

(5) 地域のまちづくりを進めるうえでの地域住民と市の役割分担について

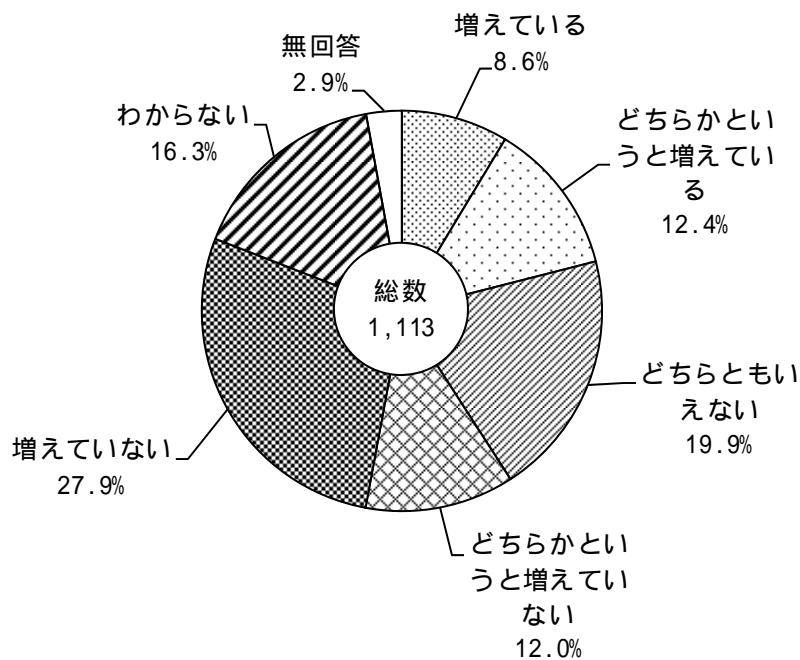
【問 2 1】あなたは、地域のまちづくりを進める上で、地域住民と市が、どのような役割分担をすることが望ましいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。



地域のまちづくりを進めるうえでの地域住民と市の役割分担については「地域住民と市が話し合い、役割分担しながら協働で取り組む」(39.5%)が4割弱と最も多くなっている。続いて「市が地域住民の要望を把握しながら、市が主体となって取り組む」(29.5%)、「市が主体となって取り組み、地域住民は理解し、協力する」(15.2%)の順となっている。

(6) 地区の空き家の増加について

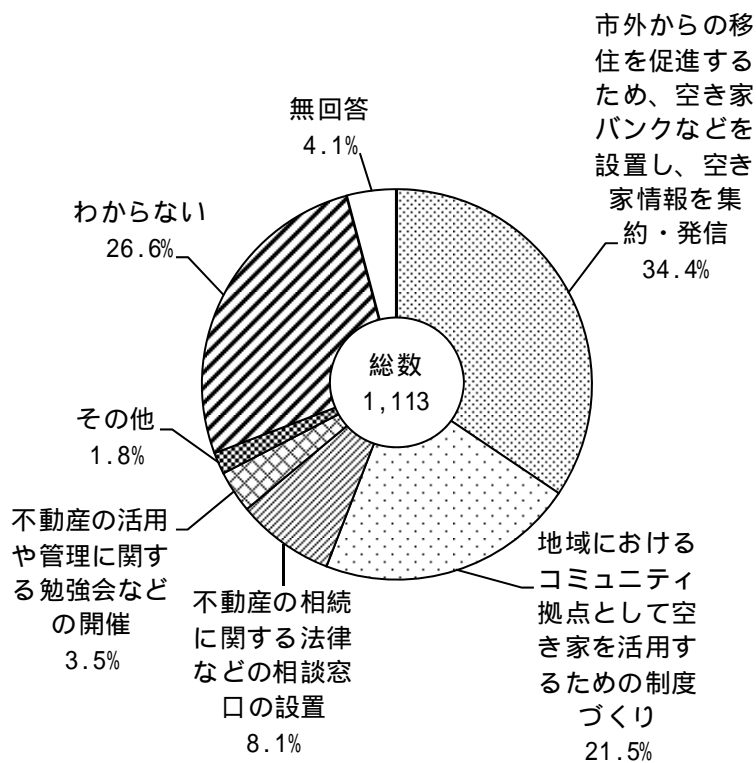
【問22】あなたは、お住まいの地区（問32で示す地区）に空き家が増えていると思いますか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。



地区の空き家の増加については「増えていない」(27.9%)が3割弱と多くなっている。続いて「どちらともいえない」(19.9%)、「どちらかという増えている」(12.4%)の順となっている。

(7) 空き家の対策について

【問23】市内にある空き家への対策として、市はどのような取り組みを充実させていくべきとお考えですか。次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

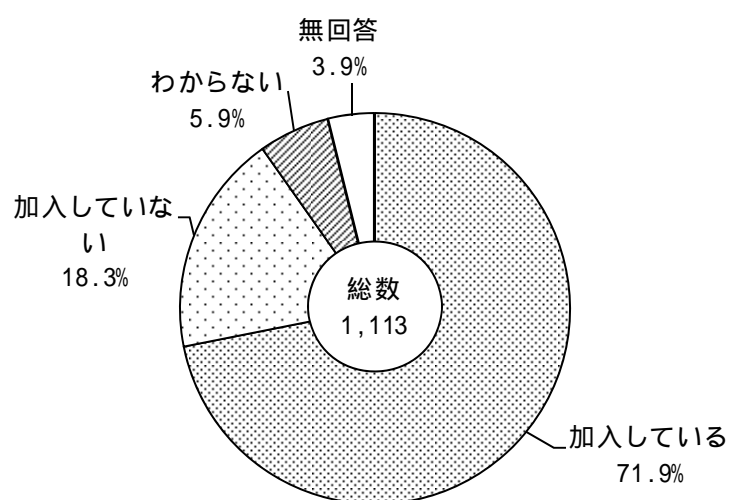


空き家の対策として市が取り組みを充実させることについては「市外からの移住を促進するため、空き家バンクなどを設置し、空き家情報を集約・発信」(34.4%)が3割強と最も多くなっている。続いて「地域におけるコミュニティ拠点として空き家を活用するための制度づくり」(21.5%)が多くなっている。一方で、「わからない」(26.6%)との回答の比率も高くなっている。

11 自治会の加入について

(1) 自治会(区・町会含む)の加入状況について

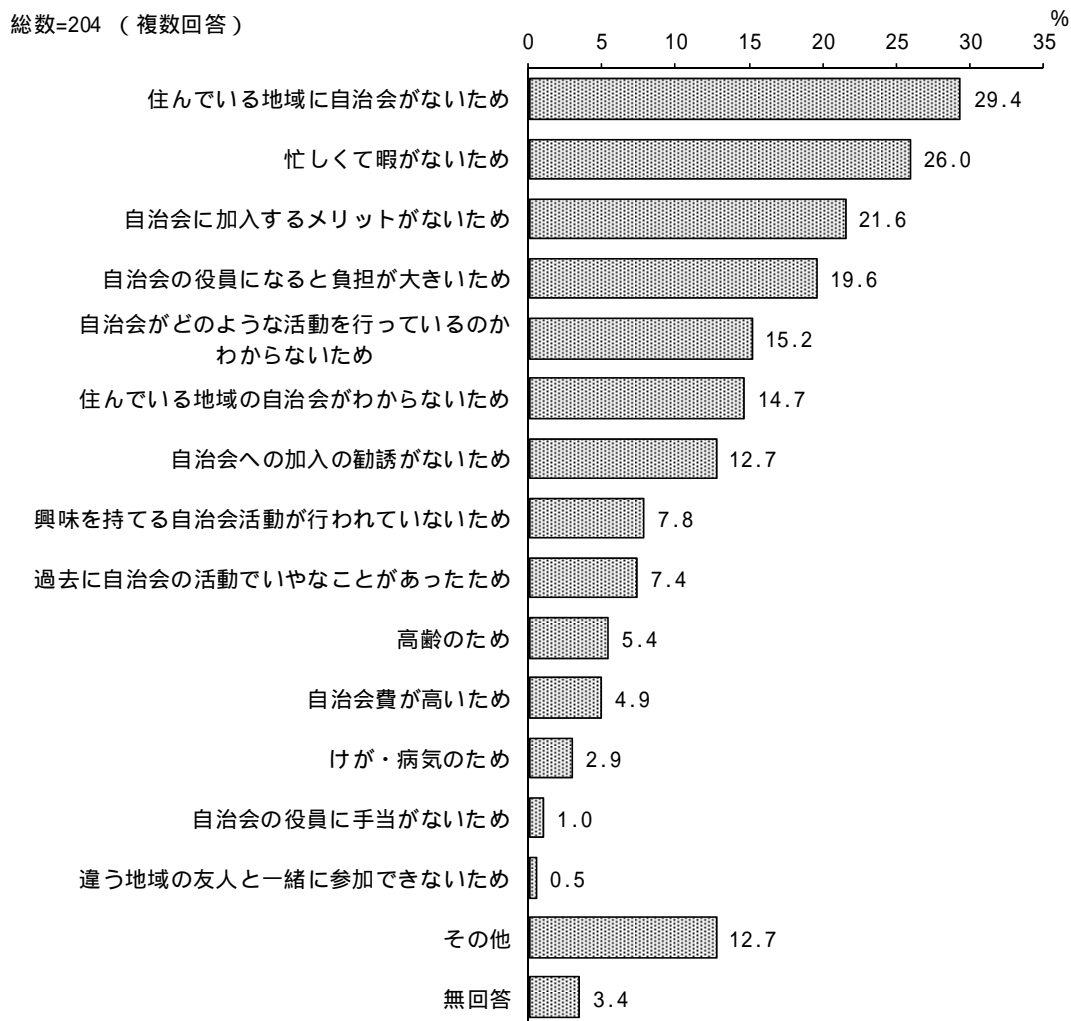
【問24】あなたは自治会(区・町会を含む)に加入していますか。次の中から1つ選んで番号にをつけてください。



自治会の加入状況については「加入している」(71.9%)が7割強と最も多くなっている。一方で、「加入していない」(18.3%)は2割弱となっている。

自治会に加入していない理由

【問24-1】あなたが、自治会に加入していない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号にをつけてください。

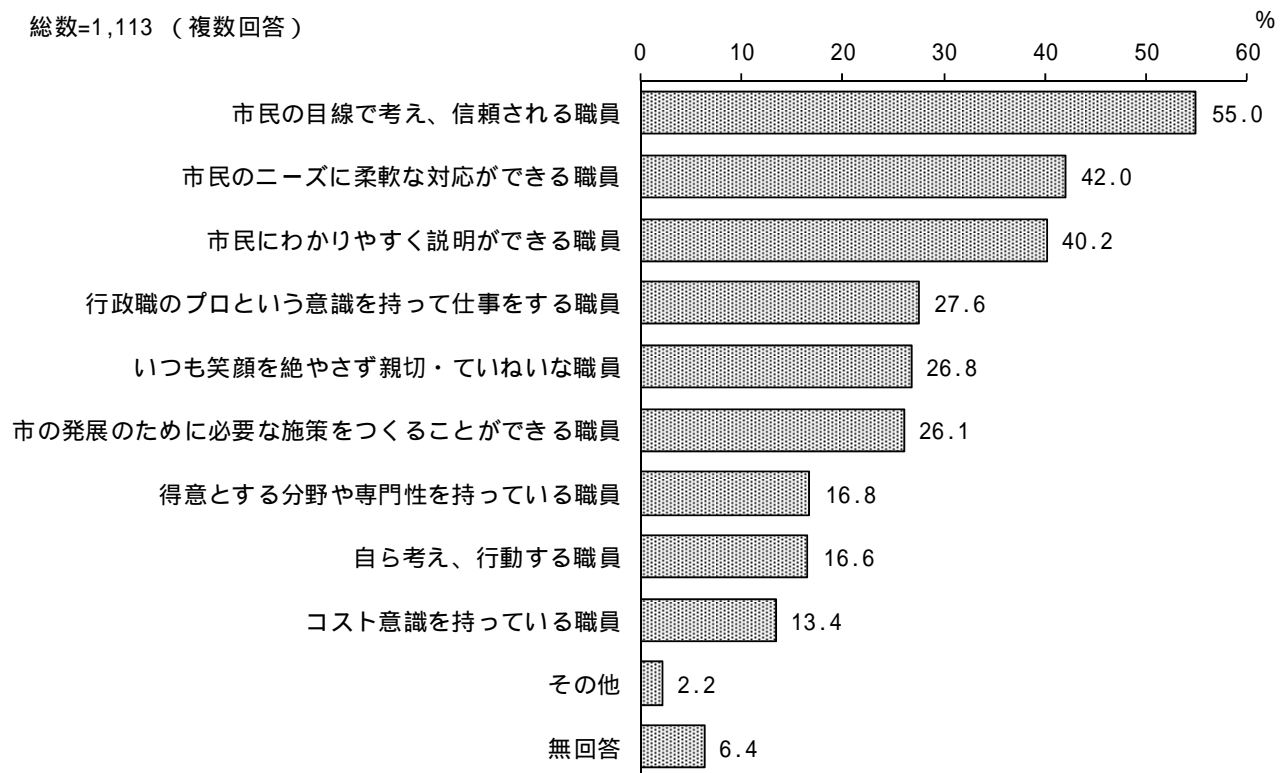


自治会に加入していない理由としては、「住んでいる地域に自治会がないため」(29.4%)が3割弱で最も多くなっている。続いて「忙しくて暇がないから」(26.0%)、「自治会に加入するメリットがないため」(21.6%)の順となっている。

12 市の職員や行財政改革について

(1) 市の職員に求められる職員像として重要なもの

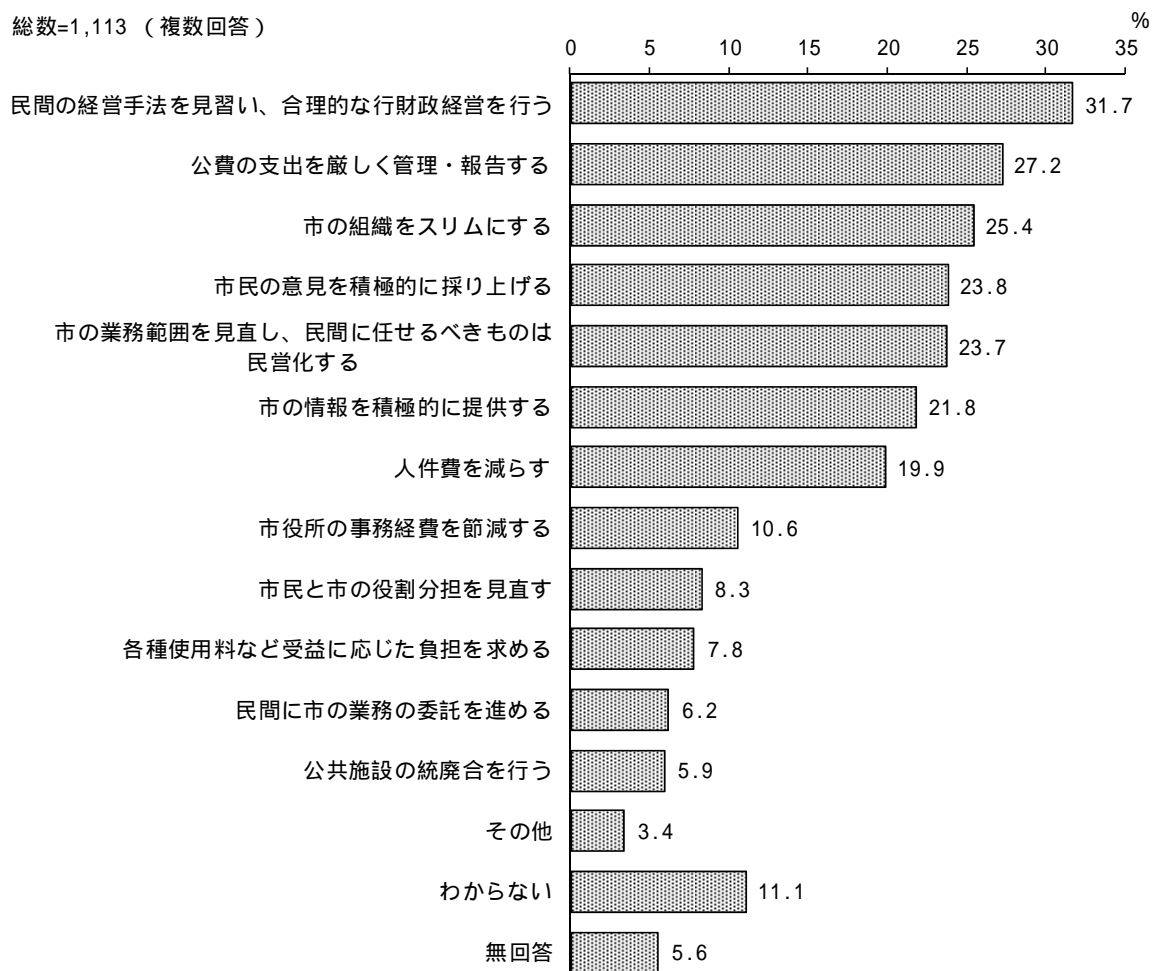
【問25】あなたは、次の職員像のうち、市の職員に特に重要なものは何だと思えますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。



市の職員に求められる職員像として重要なものは「市民の目線で考え、信頼される職員」(55.0%)が5割強と最も多くなっている。続いて「市民のニーズに柔軟に対応できる職員」(42.0%)、「市民にわかりやすく説明できる職員」(40.2%)の順となっている。

(2) 行財政改革の取り組みについて特に力を入れる必要があること

【問 2 6】あなたは、市の行財政改革の取り組みで、特に力を入れる必要があるものは何だと思えますか。次の中から3つまで選んで番号に をつけてください。



行財政改革の取り組みについて特に力を入れる必要があることは「民間の経営手法を見習い、合理的な行財政運営を行う」(31.7%)が3割強と最も多くなっている。続いて「公費の支出を厳しく管理・報告する」(27.2%)、「市の組織をスリムにする」(25.4%)の順となっている。

13 自由意見

【問33】これからの白井市のまちづくりについて自由にご意見をお聞かせください。

調査票最終ページにある自由意見欄に記入された意見を、11の施策分野毎に分類した。自由意見を記入された方の数は420名であったが、複数の分野にわたる意見については分割しているため意見総数は622件となった。

【子育て】分野に関するご意見（53件）

将来の人口減少を食い止めるためにも子育て世代への支援は欠かせない。
子育て支援に力を入れて女性が働きやすい市にしてほしい。
子育て世代の人口が増加している地区もあるが、子育てに関する制度や補助に変化がみえない。
白井市に住み続けたいと考える若い世代が増えることが大切。
若い夫婦の移住を見込んだ子育て支援の充実。
若い世代が永住したいまちづくりとして、雇用や婚活と子育てが一体となった支援が大事。
若い世代が転入、訪問する魅力がほしい。
学童などの受け入れが十分でないのに住宅がどんどん開発されている。
子育て支援のファミリーサポート等の活動をもっと広げていくと良い。
外国籍市民の方々への子育て支援も大切。
保育園の待機児童問題に関心を持っている。
臨時にいつでも安心して預けられる魅力ある保育をしてほしい。
無認可保育所の増設や補助金も出してほしい。
病児保育、病後保育が一つもないのはおかしい、子どもをみてる所がない。
保育園の土日祝日預かり、学童保育も仕事が続けられるよう時間がニーズにあっていると良い。
子どもを遊ばせる公園、遊具が驚くほど少くないっている気がする。
子どもたちがもっと行動できるところを増やしてほしい。
子どもが遊ぶ居場所が少ない。

【教育】分野に関するご意見（27件）

子どもたちの個を大切にしたい成長できる、いろいろな発見のある教育環境を目指してほしい。
小中学校の夏の暑さ対策をしてほしい。エアコンの設置など。

登下校の見守りパトロールの人員が少なく、子どもたちが安心して通える環境にしてほしい。
通学路の見守りを地域の元気なお年寄りがしているのは良い。

交通費が高いため行きたい高校に行けないという声も聞く。

小学校（特に大山口、七次小）の人口増加に対し、なぜ清水口小が減っているのか、学区割を再検討すべきではないか。

学区分けは子どもたちの通学のしやすさなどを考慮して柔軟に対応してほしい。できれば希望制度を取り入れてほしい。

近隣市に比べれば、教育に力を入れているように思う。

昔の文教都市を取り戻したい。

【防災・防犯】分野に関するご意見（35件）

< 防災 >

災害時、どこに避難すれば良いかきちんと分かるようにしてほしい。

地震対策、避難場所の徹底、備蓄、ライフライン復旧までの居場所が果たして人数分あるか。
災害が起きた時の備蓄がとて少ないと聞いており不安である。

防災防犯の一斉同報通知の向上をお願いしたい。

AEDなど防災救命機器がどこにあるか分かるようにしておくことが大切。

< 防犯 >

官民協働での防犯活動の充実をお願いしたい。

子どもたちの見守りに対する意識が以前に比べて地域で高くなっている。

夜間に暴走族などのバイクがうるさく、また危険。

白井警察署をつくってほしい。交番をもっと増やしてほしい。

道が暗い場所が多いので街灯などをつけ安心して歩けるようにしてほしい。

車へのイタズラ、自転車の盗難が多発している。

【福祉】分野に関するご意見（29件）

< 高齢者福祉 >

- 年金生活者が安心して生活できるようにお願いしたい。
- 独居老人の増加と孤独死の発生に対する対策をお願いしたい。
- 高齢になって身寄りもなくお金もない。県と協力してお金のかからない施設を計画してほしい。
- 高齢者が気軽に集まって談笑できる施設をつくってほしい。
- 高齢世帯への福祉サービスをもっと充実したほうが良い。
- 車が無い場合、福祉施設へはどのように行けば良いのか分からない。
- 老人会への入会方法が分からない。
- 住居からお店までが遠く、買い物弱者になりつつある。買い物ボランティアなどの制度があると良い。
- 地域ぐるみでの認知症予防策に取り組む必要がある。
- 高齢者が元気で社会参加しているまちを目指してほしい。
- 高齢者が安心して生きがいをもって暮らせるまちづくりが大切。

< 障害者福祉 >

- 障害者を安心して預けることのできる施設をつくってほしい。デイサービス等の利用で大分助かっている。
- 知的障害者の息子がいるが、市にはグループホームや入居施設がなく将来が不安である。
- 自分が障害者になって初めて気づくことがいっぱいある。優しい言葉が大切である。

【健康・保健・医療】分野に関するご意見（28件）

< 健康 >

- 子どもから高齢者まで健康管理・体力づくりができるスポーツクラブの誘致をお願いしたい。
- 白井駅前のスポーツ施設が無くなり、近隣住民の健康にも影響が出てきている。
- 市民の積極的な健康維持と体力増進のため、市民体育館をつくっていただきたい。
- 認知症予防体操などの取組を進め、医療費の削減にもつなげていく。

< 保健・医療 >

- がん検診など無料でなくても良いので、今よりも安くしてほしい。
- 身近にかかりつけの医院がなく不安。医院を増やしてほしい。
- 西白井に大きな病院をつくってほしい。市内に大きな病院がない。
- 病院は市外に出ることが多い、もっと市内の病院を充実してほしい。
- 小児科の夜間診療を増やしてほしい。
- 親の収入で子どもの医療費助成に上限があり、受給券がもらえなかった。フルタイムで相当に収入があるわけでもないのに、何とかならないか。
- 中学生、高校生の医療費の補助をお願いしたい。せめて中学生まででも。

【市民活動】分野に関するご意見（32件）

自治会の活動はどこまで必要か、役員になると大変。

転入者に対して自治会に加入する必要性をもっとPRするべき。

各自治会でもう少し災害対策をしたほうが良い。自治会の対策が遅れている。

市民が気軽に話し合える場所があると良い。広域サロンなどがあると良い。

市民がいつでも利用できる集会所があると良い。

自治会の集会所を活用して家庭訪問医療に変わる医療体制をつくると良い。

都市部だけでなくもっと農村部に目を向けてほしい。新住民に比べ旧住民は我慢ばかりしているように感じる。

桜台に住んでいると、印西市が生活圏のため市民であることを実感する機会が少ない。

富士地区は若い人が増えているが、子育て世代への対応が必要。

地域に関心をもってもらうため。会社勤めしている若い世代との交流の場を増やすべき。

地域住民が主体となって暮らしやすいまちづくりができれば良い。

社会福祉協議会やボランティアセンターの必要性をもっと市民に知らせる。

【生涯学習】分野に関するご意見（15件）

図書館をもっと充実してほしい。祝日等の休館などサービス体制も見直してほしい。

市内にはスポーツ施設があるので、市民大会やイベント等で有効に使い、もっとスポーツのまちづくりをすると良い。

カルチャースクールやスポーツセンターなどの充実を希望する。

市として、文化、芸術に関する取組への理解をもっと広げてほしい。

市が主体となって、白井市美術展のような芸術や美術に触れられるイベントを企画してほしい。

農村部の歴史や伝統行事などを守っていくことも大切。

若者の国際交流の機会をもっと増やしていくと良い。

【産業振興】分野に関するご意見（72件）

< 農業 >

白井市の梨は本当においしい。梨をもっとPRしていく必要がある。
梨だけでなく地元の農産物を使った特産品などつくりPRしていく。
梨畑がどんどん減っていることが残念。
農地が荒れているので、草刈りボランティアのような仕組みがあると助かる。
遊休農地が目立つので何か有効な利用方法を検討してほしい。
農家をやっていくのも大変である。食べていくのがやっと。後継者問題も検討すべき。
なし坊のゆるキャラは時代を先取りしていたが、最近のゆるキャラブームには乗れていない。
市の知名度を上げるためにも新しいなし坊をつくってはどうか。
千葉県下で白井市が梨の生産が一番なのにふなっしーに負けるのは悔しい。もっとPRしてほしい。

< 工業・企業誘致 >

工業団地の造成をさらに進めていく。
財政維持のためにも企業誘致を積極的に行う必要がある。優遇税制等の取組も必要。
白井市のもつ立地特性を活かした産業誘致、特区なども活用した規制緩和策により推進する。

< 地域経済 >

駅周辺のにぎわいをもっとつくっていくことにより集客する。
商店街を活性化してにぎわいをつくっていく。
歩いていける範囲で買い物ができるようにしてほしい。
商店などもスーパーばかりでなく、魅力的な個人商店ができると良い。車を使えないお年寄りにとっては小さな専門店が魅力。
商業施設（ショッピングモール等）やレジャー施設をもっと市内につくると良い。市外に客が流出している。
住宅地の中にコンビニエンスストアも無くて不便。
雇用機会の増加を望む。若い人も含めて地域の雇用機会が少ないため、市外へ出てしまう。
女性起業家を支援していくにも土地や仕組みがない。
市内に工業団地があるが交通の便が悪く雇用の増加につながっていない。市外から働きに来ている人が多い。

【自然環境・生活環境】分野に関するご意見（52件）

<自然環境>

宅地開発ばかりでなく、できる限り梨畑や雑木林を残してほしい。緑の景観も素晴らしい。東京近郊でこれほど環境の良い場所はないと思う。

穏やかな自然環境が昔から残っているところが白井の魅力であり、まちづくりに活かすべき。まちの緑が美しいのでボランティアを募り手入れをしていくと良い。

里山や田畑を一般市民に開放して、近郊でありながら地産池消を推進する。

神崎川、二重川を20年前の川に戻してほしい。

田畑や休耕田を使ったソーラー建設なども検討すべき。

太陽光発電の設置を促進すると良い。

<生活環境>

ごみのマナーが良くない。収集場所がしっかりとされていないため、マナーの悪い人が地域外へ出してゴミステーションが汚くなる。

粗大ごみの処理など公共サービスを充実してほしい。

清潔できれいなまちづくりを進めてほしい。

暴走族などの騒音に対する対策の必要性。

国道16号の混雑により排気ガスが多く、夏になると窓を開けられない。

駅周辺での喫煙、歩きタバコの規制をしてほしい。未成年の喫煙もよく見かける。

未だに放射線量の高いところがあるので引き続き対策をお願いしたい。

【住環境・生活基盤】分野に関するご意見（165件）

<土地利用・開発>

農地、宅地、自然の里山が混然一体となった美しいまちづくりの計画をお願いしたい。
美しい自然の景観があるのに、幹線道路の看板や道路のガードレールが景観を損なっている。
美しいまちをつくるためにも市民参加による規制制度を検討すると良い。
市街化調整区域の開発行為が今後できなくなると、白井市に一生住める土地を探すことが大変。
土地探しのアドバイスをお願いしたい。
ミニ開発が進んでいるわりに道路など基盤整備が遅れている。

<鉄道の運賃問題>

白井市の一番のネックは高すぎる交通費と電車の本数の少なさ。それが無ければもっと人も住むし、人も呼び込める。
北総線の運賃の引き下げをお願いしたい。
北総線の定期代が馬鹿にならないため、通勤通学が非常に大変。自己負担額も相当である。
北総線が停まってしまうと車以外の移動手段がない。
北総線は市が株主になり変えていかないと永久に人の来ないまちになる。応援する市民は多い。
北総線の運賃が安くなれば、若い世代も働きに行け長く住んでもらえると思う。

<道路・交通>

交通事故を少なくするためにも道路整備をお願いしたい。歩車道の分離を進める。
歩道の補修をもっとしてほしい。
道路交通量の増大が気がかりである。大型トラックの交通マナーが悪く危険。
バスなどの公共交通が不便で使いにくい。
梨バスの本数が少なくて不便。
コミュニティバスを日曜日でも走らせてほしい。
西白井駅前にコインパーキングがあると便利。
千葉ニュータウン中央駅の駐輪場利用料金が高すぎて使えない。白井駅近辺と同額程度に市として補助をお願いしたい。

<広場・公園・墓地>

駅前広場の噴水の活用、水の無い池で遊ぶ幼児の姿が気の毒。
公園に魅力がない。健康増進だけでなく大人も楽しめる施設として捉え、バスケットゴール、スケートボード用斜面、クライミングフォールなど特色ある公園に。
市独自の墓地があると良い。区画でなくても共同墓地で良い。

【行財政・市民参加・協働】分野に関するご意見（80件）

5年、10年先、20年～30年先のまちづくり、長期的展望での計画立案をお願いしたい。
生活しているなかで、白井市の施策が具体的に感じられることはない。重点施策をもっと分かりやすく広く伝えることが大切。
市の方向性が分かりにくい、市民の意見をもっと取り入れるべき。市民からの提案を活かす。市の知名度を上げる施策を積極的に行うべき。
財政難なので支出を減らすということは理解できるが、収入を増やすという発想も一緒に考える必要がある。
住民税が非常に高い。無駄なお金の使い方だけはしてほしくない。
公共施設の老朽化に伴い、維持管理コストの負担が膨らむことを想定して準備してほしい。
充実した行政運営をしていくためには、周辺市との合併を推進することも必要である。
積極的にまちづくりに参加できる市民の育成に努めることが大事。
市のトップダウンで市民が動くより、きちんとした形で市民の意見を聞き、どのようになったのか情報開示も進めてほしい。
白井市の情報を広い年代へ気軽に送ることができる体制が大事である。
窓口での対応をしっかりお願いしたい。
土日祝日の窓口業務の実施をお願いしたい。
各種証明書等の発行手続きの更なる電子化の推進。
市職員を縁故等によらず広く優秀な人材を募っていくことが大切。
市の職員の仕事への真摯な態度、積極的な姿勢を期待したい。

【その他】のご意見（34件）

今回のようなアンケートは良いと思うが、質問数が多すぎて回答が大変である。
アンケートに答えながら白井市のことを色々と考えさせられました。
市が何を大切にまちづくりをしようとしているのか分からない。サラリーマンにはピンとこない質問が多い。
住みやすいまちづくりをこれからも目指してほしい。
長年住んでいるが特に不満はない。